



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011018	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(P2)		
編集担当教員	井石 哲也		
授業担当教員名(科目責任者)	井石 哲也		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	井石 哲也		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]大教センター3F		
対象学生(クラス等)	P2		
担当教員Eメールアドレス	iseki@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-822-4107(内線257)		
担当教員オフィスアワー	活水女子大学井石研究室にて要確認		
授業のねらい	英語読解力養成と聞き取り(イギリス英語の会話表現等)、イギリス文化理解		
授業方法(学習指導法)	使用テキストの英文(400語前後)を、構文を把握しながら精読し、正確に理解する。またイギリス英語の会話を理解できるように、聞き取りの能力を養成する。		
授業到達目標	英語読解力の養成とともに、現代イギリスのさまざまな文化の諸相について理解することを目標とする。		
授業内容	第1回 受講上の注意、テキストの使用法(第1章をサンプルとして)と授業の進め方について説明を行う。第2回～第15回は各回のトピックに従って英文の読解演習を行い、第16回目に定期試験を実施する。なお、13回目の授業でG-TELP(共通テスト)を実施し、結果を評価の一部にあてる。		
	回	内容	
	1	導入・テキストChapter 1: Animals:Fictional and Real	
	2	Chapter 2: Exporting Sport	
	3	Chapter 3: Literature:The Reading Boom	
	4	Chapter 4: Eating Habits:Changing Tastes	
	5	Chapter 5: Art:Attitudes and Anonymity	
	6	Chapter 6: Population: Food for Thought	
	7	Chapter 7: Antiques:Older is Often Better	
	8	Chapter 8: Smoke-free Britain	
	9	Chapter 9: Edinburgh:A City of Festivals	
	10	Chapter 10: Television:Reflecting Our Lives	
	11	Chapter 11: Structures of the Millennium	
	12	Chapter 13: Education in the UK	
	13	G-TELP実施日	
	14	Chapter 14: Superstition and Beliefs	
	15	Chapter 15: Pedal Power	
16	定期試験		

キーワード	
教科書・教材・参考書	Anthony Allan, Tetsuya & Reiko Iseki, Insight into Britain (Kinseido, 2010)
成績評価の方法・基準等	定期試験60点、G-TELP20点、授業における発表と取り組み20点の配点とする。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1786秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011001	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(L3)		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]323		
対象学生(クラス等)	教育(L3)		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	Emailにより受け付ける		
授業のねらい	テキストを用いながらリーディング力を培う。具体的には、トピックセンテンスを中心としたパラグラフ・リーディングと語彙や文構造に着目する精読の二通りのリーディング力を育成する。また、基礎的なリスニング力を養成する。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、自然なスピードで短い会話文を聞き、質問に回答するリスニングテストを行う。後半では、テキストを要約あるいは精読するが、前もって学生を指名しておき発表してもらい、その後、質問等によりリーディングの指導を行う。		
授業到達目標	リーディングでは、目的や場面に応じて、速読と精読を使い分けることができるようになる。リスニングでは、基礎的なリスニング力と基本的な表現を身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction (Sample Test)	
	2	Unit 1 Have I Found Ms. Right?	
	3	Unit 2 How Good Is Your Memory?	
	4	Unit 3 The History of Time-Keeping	
	5	Unit 4 Endangered Species	
	6	Unit 5 Travel Manners	
	7	Unit 6 What does a Million Dollars Buy?	
	8	Unit 7 Earth's Mysterious Places	
	9	Unit 8 Is an Only Child a Lonely Child?	
	10	Unit 9 Homeschooling--a Better Way to Learn?	
	11	Unit 10 The Segway--a New Look at Travel	
	12	Unit 11 What Constitutes Art?	
	13	G-TELP	
	14	Unit 12 Avoiding Cultural Taboos	
	15	まとめ	
16	定期試験		

キーワード	(paragraph) reading, listening,
教科書・教材・参考書	Neil J. Anderson, 川又正之 Advanced Skills for Reading, 成美堂, 1785円(税込)
成績評価の方法・基準等	リスニングテストの平均点(20%)、G-TELP(20%)、授業時の発表(10%)、定期試験(50%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	基礎的なリーディング力及びリスニング力を養う。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	必ず予習をして授業に臨むこと。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011019	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(F(英3))		
編集担当教員	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者)	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大坪 有実		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]新棟4		
対象学生(クラス等)	F3		
担当教員Eメールアドレス	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィシアワー	毎週月曜日12:50~14:30		
授業のねらい	毎回の授業を通し、英文を読むうえで大切なポイントを押さえ、英文を辞書を引かず、速読で読み、内容を正確に捉える事が出来ることをねらいとする。		
授業方法(学習指導法)	一回の授業で一課進む。 前半は英文を読むときに大切なポイントを学習したうえで、その指示に従い、英文を正確に読む。 後半は本文の内容を要約したりスニングを通し、さらに英文の内容の理解を深める。		
授業到達目標	英文を読む際のコツをつかみ、最終的には辞書を使わずに、速読で何について書かれているのか正確に理解し、その内容を伝えられるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction 授業の進め方・諸注意 The T-shirt	
	2	Hey, whacha doin'?	
	3	"You Got 30 Minutes!"	
	4	The Flag of the United Staes	
	5	Names	
	6	Jonny Depp	
	7	American Holidays	
	8	Autistic Savant	
	9	Linus	
	10	Environmental Disaster	
	11	The Man in Black	
	12	Famous Animals	
	13	G-TELP	
	14	The Incandescent Light Bulb	
	15	Jazz	

	16 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	Focus on Reading! 読み方から教えるリーディング・レッスン (松柏社) ¥1,995
成績評価の方法・基準等	定期試験60% 授業への積極的な取り組み(発表・課題等)40% ←これを80%換算したもの+G-TELPの成績20%
受講要件(履修条件)	授業中、発表してもらいますのでしっかりと予習したうえで授業に臨んでください。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月4														
開講期間																	
必修選択	必	単位数	1.0														
時間割コード	20120590011028	科目番号	05900110														
授業科目名	●総合英語Ⅱ(F(英2))																
編集担当教員	藤本 ゆかり																
授業担当教員名(科目責任者)	藤本 ゆかり																
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤本 ゆかり																
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目														
教室	[全]大教センター3F																
対象学生(クラス等)	F2																
担当教員Eメールアドレス																	
担当教員研究室	非常勤講師控室																
担当教員TEL	095-819-2078(非常勤講師控室)																
担当教員オフィスアワー	月曜日10時30分より																
授業のねらい	世界中から発信された、最新の環境や健康に関するニュースを読み、興味深い内容の英文を通して、世界の環境や健康に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、和訳の仕方を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、英字新聞を読む自信をつける。																
授業方法(学習指導法)	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、和訳の技術、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を、資料等を用いて指導する。																
授業到達目標	健康に対して関心を持ち、生活に役立てることができる。話したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。和訳の技術を高めることができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。																
授業内容	<p>リーディングの方法として、準備段階を踏んで、リーディング本来の活動(スキミング、スキヤニング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに日本語に訳をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキヤニングにより、内容の把握と理解をする。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。</p> <p>英文は英字新聞から選ばれてきたものであり、フレーズ・リーディングを行うことで、教科書は特色あるものである。毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行って下さい。 自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10月 1日 導入・授業内容の説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10月15日 Unit 1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10月22日 Unit 2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10月29日 Unit 3</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11月 5日 Unit 4</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11月12日 Unit 5</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	10月 1日 導入・授業内容の説明	2	10月15日 Unit 1	3	10月22日 Unit 2	4	10月29日 Unit 3	5	11月 5日 Unit 4	6	11月12日 Unit 5
回	内容																
1	10月 1日 導入・授業内容の説明																
2	10月15日 Unit 1																
3	10月22日 Unit 2																
4	10月29日 Unit 3																
5	11月 5日 Unit 4																
6	11月12日 Unit 5																

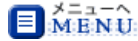
	7	11月19日	Unit 6
	8	11月26日	Unit 7
	9	12月 3日	Unit 8
	10	12月10日	Unit 9
	11	12月17日	Unit 10
	12	1月 7日	G-TELPポスト・テストとまとめ
	13	1月21日	Unit 11
	14	1月28日	Unit 12
	15	2月 4日	Unit 13
	16	定期試験	
キーワード	リーディング・リスニング・英字新聞・世界の出来事・環境・健康・TOEIC・英作文・英文法		
教科書・教材・参考書	Messages to the Future(小笠原真司: 南雲堂) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	このクラスの成績評価は下記のとおりです。定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。定期試験の成績を70%、共通テスト(G-TELPテスト)の結果を20%の割合で、最終成績とします。授業中の発表や活動10%を基準とします。また、受講中の態度を非常に重視しますので、注意しましょう。		
受講要件(履修条件)	今年度2年生の総合英語Ⅲは、目的別クラスに分けて実施されます。クラスが指定されますので、自分が受講するクラスを、10月初めに全学教育事務室の掲示板で確認して下さい。授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		
本科目の位置づけ	リーディング・スキルの定着と向上を図る。		
学習・教育目標	総合的な英語の能力の基本を習得する。世界への関心を益々高める。		
備考(URL)			
備考(準備学習等)	授業には必ず予習をして臨んで下さい。英単語の意味を予め調べておき、文章の大意を掴んでおきます。目的別のクラス分けは、英語学力基礎テストの結果に基づき、リーディング中心型クラスと総合力(基礎力)養成クラスに分けています。		





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011033	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(F(英1))		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	Fa		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBCなどの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。		
授業内容	※水産学部総合英語IIは、習熟度別クラスにて実施します。クラス分けは、事前に発表しますので、掲示をよくみておいてください。(英語コミュニケーションは、従来どおりのクラスです)。		
	回	内容	
	1	10月1日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、授業で取り上げるスキルの概要説明	
	2	10月15日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	3	10月22日 第3回 Voice Aerobics、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	4	10月29日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)	
	5	11月5日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)	
	6	11月12日 第6回 弱く発音される音、速読(phrase reading)	
	7	11月19日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)	

	8	11月26日 第8回 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2)
	9	12月3日 第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2)、映画による聞き取り(3)
	10	12月10日 第10回 グループによるディスカッション(1)、映画による聞き取り(4)
	11	12月17日 第11回 ひとつになる音、インフォメーションギャップによるペアワーク(3)、速読(phrase reading)
	12	1月7日 第12回 つながる音、映画による聞き取り(5)、速読(phrase reading)
	13	1月23日 第13回 G-TELPテスト
	14	1月30日 第14回 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として)、グループによるディスカッション(2)
	15	2月6日 第15回 なくなる音、速読(phrase reading)、映画による聞き取り(6)
	16	
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
教科書・教材・参考書	プリント教材、及びExtensive Reading教材(Polar Bear・センゲージラーニング) 速読教材としては、各種英字新聞から環境、水産資源、生物に関わる話題を精選し、教材とする。具体例としては、マンガローブ、ゴーストフィッシング、地球温暖化、環境ホルモンなどを扱った題材を取り上げる予定。	
成績評価の方法・基準等	共通テスト(G-TELP)(20%)、小テスト(70%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは毎回行う。 平成22年度後期の総合英語IIの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学カテストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。	
受講要件(履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！特に、自宅においてシャドウイングなどの練習をしっかりと行うこと。	
本科目の位置づけ	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。	
学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の13回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。	





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『全学教育』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011002	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(E5)		
編集担当教員	稲田 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	稲田 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲田 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]新棟6		
対象学生(クラス等)	E5		
担当教員Eメールアドレス	inada@lit.kyushu-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	火曜2限(事前にメールで連絡すること)		
授業のねらい	"英語の読解力と日本語・英語による要約する力を養う。 短い英文について、リスニング能力を養う。"		
授業方法(学習指導法)	"下記の「授業内容」欄に記された教材を使って、英文の読解、要約、聞き取りを行う。 必要に応じて、宿題によって課題の提出を求める。 "		
授業到達目標	"英語で書かれた論説やニュース記事について、日本語で簡潔に要約ができるようになる。 英語で書かれた論説やニュース記事について、英語で要約ができるようになる。 課題について、英語でまとめる基礎的な作文技術を身に付ける。"		
授業内容	回	内容	
	1	1. TBA (速読 1)	
	2	2. TBA (速読 2 + 聞き取り)	
	3	3. Quiz 1 (語彙、表現)	
	4	4. TBA (速読3 + 聞き取り)	
	5	5. TBA (大学生生活の英語)	
	6	6. Quiz 2 (語彙、表現)	
	7	7. TBA (新聞の英語)	
	8	8. TBA (大学新聞の英語)	
	9	9. Quiz 3 (語彙、表現、聞き取り)	
	10	10. TBA (英文要約 1)	
	11	11. TBA (英文要約 2)	
	12	12. Quiz 4 (語彙、表現、聞き取り)	
	13	13. G-TELP	

	14	14. 英文メール作成の技術
	15	15. 英文メール作成の訓練
	16	16. 期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	授業で配布する。	
成績評価の方法・基準等	出席20%、G-TELP 20%、授業中の課題20%、期末テスト40%	
受講要件(履修条件)	同クラスの履修経験のないもの	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011003	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(E7)		
編集担当教員	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者)	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	奥田 阿子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]125		
対象学生(クラス等)	(E7)		
担当教員Eメールアドレス	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問受付時間:火曜日4限目 教員Eメールアドレス宛に質問も可		
授業のねらい	英語圏への留学、TOEICの受験などを想定し、大学生としてふさわしい実践的な英語の運用能力を養成します。		
授業方法(学習指導法)	この授業では、リスニング及び語彙の基礎力を養成することを目指します。教材の内容理解度及び学習ペース設定のため、リスニングについては1か月に1回程度、語彙については毎週、小テストを実施します。1週間に2、3回の自習が必要です。		
授業到達目標	各単語を逐一聞き取るのではなく、5語前後から成るフレーズに注目し、そのフレーズ全体の内容を理解するような姿勢でリスニング出来るようになること。また、話者の言葉自体だけでなく、話されている場所、話者の立場、その場の状況など、あらゆる情報を総合して、話者の発話内容を理解できるようになること。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション、教材の選定テスト	
	2	教材の説明、学習方法の説明	
	3	小テスト、グループワーク	
	4	小テスト、グループワーク	
	5	小テスト、グループワーク	
	6	小テスト、グループワーク	
	7	小テスト、グループワーク	
	8	小テスト、発表	
	9	小テスト、グループワーク	
	10	小テスト、グループワーク	
	11	小テスト、グループワーク	
	12	小テスト、グループワーク	
	13	G-TELP実施	
14	小テスト、グループワーク		

	15 小テスト、発表
	16 期末試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	Listen to Me！シリーズの教材
成績評価の方法・基準等	"期末テスト、小テスト、学習態度を、おおよそ以下の比率で総合的に評価する。 期末テスト:20% 小テスト:20% 自習状況を含む学習態度:40% G-TELP:20%"
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 [印刷](#)

シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011036	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(E6)		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]新棟5		
対象学生(クラス等)	E6		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィサー	火4 水2 木3		
授業のねらい	このクラスは、テキストを利用して、リスニング力や速読の練習を行い、そのスキルを大幅に向上させます。またプリント教材により毎回ニュース英語を読みリーディング力と語彙力の養成を行います。音読の訓練も行い、スピーキング面での強化も行います。		
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定されたテキストと配付のプリント教材を用いて、大意を取る練習をします。また細かな部分はブレーズリーディングで速読します。またテキストを用いて、リスニングの練習をたくさん行い、リスニングストラテジーによるリスニングスキルを身につけます。そして、e-learning 教材を授業の一部で行なうとともに、多くの部分は範囲を指定して、授業外学習をしてもらいます。また、最新の英字新聞を利用して、速読の練習も行います。		
授業到達目標	<p>プリント教材のテキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。テキストのファーストパラグラフがリピーティングできるようにします。</p> <p>また教科書の歌や歌詞が80%聞き取れるようにします。教科書の課題例文120を修得します。</p> <p>e-learning 教材パワーワーズレベル3の80%を修得します。</p> <p>授業の最初には、前回学習したプリントのテキストの第1パラグラフのリピーティングからはじめます。家庭で必ず練習してきてください。</p> <p>その後、リーディングの練習をします。学生はテキストや英字新聞の指示された範囲を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。</p> <p>教科書の歌の歌詞をCDを用いて聞き取る練習をし、リスニングスキルをアップさせます。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業外でe-learning教材にも挑戦してもらいます。その進捗度も評価に加えます。</p> <p>担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p>		
	回	内容	
	1	オリエンテーション Take Me Out to the Ball Game e-learning Power Pords Level 3 Unit.1 英字新聞記事1	
	2	Edelweiss, Amazing Grace e-learning Power Pords Level 3 Unit.2~4 英字新聞記事1	
	3	Puff e-learning Power Pords Level 3 Unit.5~8 英字新聞記事1	

授業内容	4	Unchained Melody e-learning Power Pords Level 3 Unit.9~12 英字新聞記事2	
	5	Over the Rainbow e-learning Power Pords Level 3 Unit.13~16 英字新聞記事2	
	6	Where Have All the Flowers Gone? e-learning Power Pords Level 3 Unit.17~20 英字新聞記事2	
	7	Tennessee Waltz e-learning Power Pords Level 3 Unit.21~24 英字新聞記事3	
	8	My Way e-learning Power Pords Level 3 Unit.25~28 英字新聞記事3	
	9	Dreaming Home and Mother e-learning Power Pords Level 3 Unit.29~32 英字新聞記事3	
	10	Long Long Ago e-learning Power Pords Level 3 Unit.33~36 英字新聞記事4	
	11	Grandfather's Clock e-learning Power Pords Level 3 Unit.37~40 英字新聞記事4	
	12	I've Working on the Railroad e-learning Power Pords Level 3 Unit.41~43 英字新聞記事4	
	13	英字新聞記事5 G-TELP 試験とまとめ	
	14	Beautiful Dreamer e-learning Power Pords Level 3 Unit.44~47	
	15	We wish you a Merry Christmas e-learning Power Pords Level 3 Unit.48~50 英字新聞記事5	
	16	定期試験	
	キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
	教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): English Melodies of the Heart (CD付) (英光社)1,795円 英字新聞 10円 (第1回目の授業時に教室にてセットで販売します) 教材 : プリント教材 毎回配布します。	
	成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20% 授業中の発表(小テスト含む)10%で行います。	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の13回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		





タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011024	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(E8)		
編集担当教員	稲富 百合子		
授業担当教員名(科目責任者)	稲富 百合子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲富 百合子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教]25講義室		
対象学生(クラス等)	経済(E8)		
担当教員Eメールアドレス	inadomi@fukuoka-u.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後、また、メールにて受け付けます。		
授業のねらい	この授業では、ナショナルジオグラフィックの映像(DVD)を活用しながら、できるだけ多くの英語の文章に触れ、読解力を高めることを目指します。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半ではリーディングを中心に、後半ではリスニングの問題を中心に進めていきます。授業のはじめに小テストを行います。各自、予習・復習をして授業に臨んでください。		
授業到達目標	<p>(1) 英語の文章構成の基礎知識について学び、速読のスキルを身につけ、英語の文章を効率的に、かつ正確に読み進めることができるようになる。</p> <p>(2) 自然な速度で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容の理解力を向上させる。</p> <p>予習、復習を前提に行います。1回の授業につき1ユニットを進めることを進度の目安にしてください。</p> <p>リーディングでは、自然・動物と人間との関わりをテーマにした英文を読み、語彙・文法・構文など、様々な知識を習得していきましょう。</p> <p>リスニングにおいては、ディクテーションを行い、内容の大意をつかむ練習と細部まで理解を深める練習の両方を行います。また、単語や表現の正確な発音を身につけていきます。</p> <p>テキストの構成は以下の通りです。</p> <p>(1) Viewing for Introduction: そのUnitで学習する部分のストーリーの全体像をつかむ</p> <p>(2) Vocabulary: 日本語の意味だけでなく、英語の説明を理解することでその語句の持つニュアンスをより深く知る</p> <p>(3) Reading 1 & 2: 長文を読み、内容を把握したり、話の流れを理解したり、段落の概要をまとめたりする</p> <p>(4) Viewing for Understanding: 映像を視聴して、その内容について答える問題</p> <p>(5) Dictation: 音声のみによる聴き取り問題</p> <p>(6) Post-reading Exercise: 語句の練習問題や文法事項の確認問題</p> <p>(7) Viewing All & Summary: ストーリー全編を視聴して、全体の内容を再確認。</p> <p>(7) Critical Thinking: ストーリーが提起している問題を考える</p>		
	回	内容	
	1	教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方について説明)、英語の文章構成について(プリント教材)テキストIntroduction	
	2	Unit 1 A Disappearing World: Part 1	
	3	Unit 2 A Disappearing World: Part 2	
	4	Unit 3 The Missing Snows of Kilimanjaro: Part 1	

授業内容	5	Unit 4 The Missing Snows of Kilimanjaro: Part 2	
	6	Unit 5 Cambodia Animal Rescue: Part 1	
	7	Unit 6 Cambodia Animal Rescue: Part 2	
	8	Unit 7 Orangutan Language: Part 1	
	9	Unit 8 Orangutan Language: Part 2	
	10	Unit 9 Cupid the Dolphin: Part 1	
	11	Unit 10 Cupid the Dolphin: Part 2	
	12	Unit 11 Cupid the Dolphin: Part 3	
	13	G-TELP	
	14	Unit 12 Saving the Pandas: Part 1	
	15	Unit 13 Saving the Pandas: Part 2	
	16	定期試験	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	[Title] Messages from the Globe - National Geographic Multi-media Reading Course [Author(s)] 山科美知子／横山三鶴／沖野泰子 [Publisher] センテージラーニング [ISBN] 978-4-86312-187-4 * 参考書等 授業中に適時紹介します。	
	成績評価の方法・基準等	教員評価部分【定期試験60%、授業への積極的な取り組み状況(発表を含む)25%、小テスト15%とし、総合的に評価します。】 * 教員の評価を80%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に評価する。	
	受講要件(履修条件)	原則として全回出席することが求められます。 第1回目の授業では、教室で教科書販売を行います。価格は2415円です。 授業には必ず辞書を持参してください。	
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)			





タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水2																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20120590011010	科目番号	05900110																				
授業科目名	●総合英語Ⅱ(T7)																						
編集担当教員	吉村 宗司																						
授業担当教員名(科目責任者)	吉村 宗司																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	吉村 宗司																						
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																						
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]新棟5																						
対象学生(クラス等)	T7																						
担当教員Eメールアドレス	yoshimura@nagasaki-joshi.ac.jp																						
担当教員研究室	非常勤講師控室																						
担当教員TEL																							
担当教員オフィスアワー	授業の前後(10:20~10:30/12:00~12:10/授業時の教室)																						
授業のねらい	授業のねらい:対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれにに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(米語)-必要最低限の英語(米語)-を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。																						
授業方法(学習指導法)	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声の特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英語(米語)の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。尚、マテリアルとしては、日常生活表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。																						
授業到達目標	本講座の受講によって、これまで英米語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることを究極の目標に掲げる。																						
授業内容	<p>授業内容(概要)</p> <p>前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、基礎知識、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声の特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて比較文化的視座から文化に関する実利的なトピックも織り交ぜつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音 /j/, /w/, /r/, /t/ と /l/ の発音</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/ の脱落、/t/, /d/ のラ音化</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>連結しない場合の /l/, /h/ の脱落、半母音 /j/, /w/ と /n/ + /d/ による音変化</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音 /j/ に絡む音変化①)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)	2	『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について	3	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音 /j/, /w/, /r/, /t/ と /l/ の発音	4	子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説	5	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック	6	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/ の脱落、/t/, /d/ のラ音化	7	連結しない場合の /l/, /h/ の脱落、半母音 /j/, /w/ と /n/ + /d/ による音変化	8	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン	9	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音 /j/ に絡む音変化①)
回	内容																						
1	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)																						
2	『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について																						
3	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音 /j/, /w/, /r/, /t/ と /l/ の発音																						
4	子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説																						
5	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック																						
6	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/ の脱落、/t/, /d/ のラ音化																						
7	連結しない場合の /l/, /h/ の脱落、半母音 /j/, /w/ と /n/ + /d/ による音変化																						
8	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン																						
9	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音 /j/ に絡む音変化①)																						

	10 『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化②)、『調音点が近い子音の連続』
	11 『同化』を聞き取るパターン(3)(/h/の後続音への影響)、On an Airplane(1)
	12 On an Airplane(2)／VTR視聴／ニュースを聞き取る
	13 G-TELP実施 At an Airport(1)／洋楽を聞き取る
	14 At an Airport(2)／Taking a Taxi(1)／洋楽を聞き取る
	15 Taking a Taxi(2)／洋楽を聞き取る／まとめ
	16 定期試験 ※毎回、詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定を変更する場合もある。尚、基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、解説やトレーニングに加え、比較文化的視座から実利的なトピックも交えつつ講義を進めていく。
キーワード	音法
教科書・教材・参考書	(1) 英語リスニング-聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材) (3) アメリカの生活と文化(VTR教材)
成績評価の方法・基準等	G-TELPの結果20%、定期試験70%、受講態度10%等の総合判定によって評価を行なう。
受講要件(履修条件)	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。
本科目の位置づけ	本科目は、英語の四技能習得のうち、実用英語運用能力、即ちリスニングとスピーキングの能力を促進させることに力点を置いた位置づけである。
学習・教育目標	英語国民と円滑なコミュニケーションを図ることができるレベルのリスニング力とスピーキング力を習得することが目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語検定試験などのリスニング部門で高得点をあげることも目標に掲げたい。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	辞書、あるいは電子辞書を準備する。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望ましい。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できる。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!





シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011013	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(T5)		
編集担当教員	加島 巧		
授業担当教員名(科目責任者)	加島 巧		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	加島 巧		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]新棟6		
対象学生(クラス等)	Ea		
担当教員Eメールアドレス	kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控え室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスパワー	授業時間の前後		
授業のねらい	ねらい:二種類の英語のテキストを読みながら、様々な練習問題を解いていきます。英語の総合力を高めます。英検2級の問題集に併せて、リスニング能力や速読能力を高めるテキストも使用し、英語の総合力を高めます。		
授業方法(学習指導法)	授業方法(学習指導法):演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解していきます。授業の最初には、リスニングや、速読能力を高める授業を行います。毎回指定された量の自宅学習も必要とされます。		
授業到達目標	到達目標:テキストの英語を辞書無しでも読めることを目指します。付属CDでテキストの内容が聞き取れるようにします。		
授業内容	授業の最初には、English Proficiency Test でウォーミングアップを行います。その後英検の過去問を読んで行きます。かならず指定された部分を予習しておいてください。English Proficiency Test にはテキストとは別に問題集も付属していますので、各自ノートを作成し、毎週指定された部分の問題を解いて行ってまいります。		
	回	内容	
	1	第1回:オリエンテーション	
	2	第2回:Practice Test 1, 英検過去問1	
	3	第3回:Practice Test 2, 英検過去問2	
	4	第4回:Practice Test 3, 英検過去問3	
	5	第5回:Practice Test 4, 英検過去問4	
	6	第6回:Practice Test 5, 英検過去問5	
	7	第7回:Practice Test 6, 英検過去問6	
	8	第8回:Practice Test 7, 英検過去問7	
	9	第9回:Practice Test 8, 英検過去問8	
	10	第10回:Practice Test 9, 英検過去問9	
	11	第11回:Practice Test 10, 英検過去問10	
	12	第12回: 英検過去問11	
	13	第13回:G-TELPテスト	
14	第14回: 英検過去問12		

	15	第15回:英検過去問13とまとめ
	16	第16回:定期試験1月30日
キーワード	英検2級、総合英語	
教科書・教材・参考書	English Proficiency Test (南雲堂)2,100円 2012年度版英検2級 過去6回全問題集(旺文社英検書)1,365円(第一回目の授業時に教室にて販売します)	
成績評価の方法・基準等	定期試験80%、G-TELP20%(出席重視)	
受講要件(履修条件)	定期試験の受験資格は規定による。教科書は2冊必ず購入すること	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。

印刷



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	水2																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20120590011022	科目番号	05900110																				
授業科目名	●総合英語Ⅱ(T4)																						
編集担当教員	中村 吏花																						
授業担当教員名(科目責任者)	中村 吏花																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中村 吏花																						
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																						
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[総]108																						
対象学生(クラス等)	T4																						
担当教員Eメールアドレス	arthur410@hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)																						
担当教員研究室	非常勤講師室																						
担当教員TEL																							
担当教員オフィスパワー	水曜昼休み																						
授業のねらい	英語の4技能を総合的に向上させる。フレーズリーディングの訓練をする。コミュニケーションだけでなく、TOEICやTOEFLなどにも役立つ基本的な文法を身に付ける。新出語句や表現を習得する。リスニング・リーディング練習をバランスよく行い、英語の音声・英文の構造に慣れる。速読・精読を意識して行う。																						
授業方法(学習指導法)	必ず予習をして授業に出席すること。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらう。テキスト付属のCDを活用して英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など英語を読み・聞く訓練をする。授業中にそれぞれの問題のポイントと、内容を理解する。重要文法事項を解説する。																						
授業到達目標	自分が必要とする情報を正しく適切に読み取る事ができる。基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解する事ができる。																						
授業内容	<p>始めに速読、それから精読を意識して、本文の内容を確認する。語句・表現・文法の解説をする。英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるため、CDを活用してディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。授業には必ず予習をして臨み、辞書を持参してください。(電子辞書可。携帯電話は使用不可)。内容がよくつかめなときは、何がわからないのかを明らかにさせてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。*教室に座っていれば出席というものではありません。予習をして授業に臨み(予習が十分にできていない場合は出席とはみなしません)、他の人の発表に耳を傾け、疑問があれば質問し、積極的に授業に取り組んで初めて出席とみなします。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めず。それより遅い入室は欠席扱いとします。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 10月3日 Introduction</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 10月10日 Are you ready for a pet?</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 10月17日 Gap year</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 10月24日 What is wealth?</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 10月31日 Globalization</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 11月7日 What I learned in college</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 11月14日 How paper is recycled</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 11月21日 Review</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 11月28日 Where do our students come from?</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 10月3日 Introduction	2	第2回 10月10日 Are you ready for a pet?	3	第3回 10月17日 Gap year	4	第4回 10月24日 What is wealth?	5	第5回 10月31日 Globalization	6	第6回 11月7日 What I learned in college	7	第7回 11月14日 How paper is recycled	8	第8回 11月21日 Review	9	第9回 11月28日 Where do our students come from?
回	内容																						
1	第1回 10月3日 Introduction																						
2	第2回 10月10日 Are you ready for a pet?																						
3	第3回 10月17日 Gap year																						
4	第4回 10月24日 What is wealth?																						
5	第5回 10月31日 Globalization																						
6	第6回 11月7日 What I learned in college																						
7	第7回 11月14日 How paper is recycled																						
8	第8回 11月21日 Review																						
9	第9回 11月28日 Where do our students come from?																						

	10	第10回 12月5日 From 'snail mail' to PDAs in just twenty years
	11	第11回 12月12日 Rules for success
	12	第12回 12月19日 Three ways to build a more international company
	13	第13回 1月9日 G-TELP
	14	第14回 1月16日 発表(1)
	15	第15回 1月23日 発表(2)
	16	第16回 1月30日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	Osamu Takeuchi『Reading Stream Pre-intermediate』(Kinseido) *必ずテキスト本体を入手して出席してください。	
成績評価の方法・基準等	定期試験60%、課題10%、積極的な授業への参加状況10%、G-TELP20%	
受講要件(履修条件)	3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います。(入院・出席停止の伝染病等を除き、病欠も欠席扱いとします)。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011025	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(T6)		
編集担当教員	稲富 百合子		
授業担当教員名(科目責任者)	稲富 百合子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲富 百合子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教]25講義室		
対象学生(クラス等)	工学(T6)		
担当教員Eメールアドレス	inadomi@fukuoka-u.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後、また、メールにて受け付けます。		
授業のねらい	この授業では、ナショナルジオグラフィックの映像(DVD)を活用しながら、できるだけ多くの英語の文章に触れ、読解力を高めることを目指します。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半ではリーディングを中心に、後半ではリスニングの問題を中心に進めていきます。授業のはじめに小テストを行います。各自、予習・復習をして授業に臨んでください。		
授業到達目標	<p>(1) 英語の文章構成の基礎知識について学び、速読のスキルを身につけ、英語の文章を効率的に、かつ正確に読み進めることができるようになる。</p> <p>(2) 自然な速度で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容の理解力を向上させる。</p> <p>予習、復習を前提に行います。1回の授業につき1ユニットを進めることを進度の目安にしてください。</p> <p>リーディングでは、自然・動物と人間との関わりをテーマにした英文を読み、語彙・文法・構文など、様々な知識を習得していきましょう。</p> <p>リスニングにおいては、ディクテーションを行い、内容の大意をつかむ練習と細部まで理解を深める練習の両方を行います。また、単語や表現の正確な発音を身につけていきます。</p> <p>テキストの構成は以下の通りです。</p> <p>(1) Viewing for Introduction: そのUnitで学習する部分のストーリーの全体像をつかむ</p> <p>(2) Vocabulary: 日本語の意味だけでなく、英語の説明を理解することでその語句の持つニュアンスをより深く知る</p> <p>(3) Reading 1 & 2: 長文を読み、内容を把握したり、話の流れを理解したり、段落の概要をまとめたりする</p> <p>(4) Viewing for Understanding: 映像を視聴して、その内容について答える問題</p> <p>(5) Dictation: 音声のみによる聴き取り問題</p> <p>(6) Post-reading Exercise: 語句の練習問題や文法事項の確認問題</p> <p>(7) Viewing All & Summary: ストーリー全編を視聴して、全体の内容を再確認。</p> <p>(7) Critical Thinking: ストーリーが提起している問題を考える</p>		
	回	内容	
	1	教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方について説明)、英語の文章構成について(プリント教材)テキストIntroduction	
	2	Unit 1 A Disappearing World: Part 1	
	3	Unit 2 A Disappearing World: Part 2	
	4	Unit 3 The Missing Snows of Kilimanjaro: Part 1	

授業内容	5	Unit 4 The Missing Snows of Kilimanjaro: Part 2	
	6	Unit 5 Cambodia Animal Rescue: Part 1	
	7	Unit 6 Cambodia Animal Rescue: Part 2	
	8	Unit 7 Orangutan Language: Part 1	
	9	Unit 8 Orangutan Language: Part 2	
	10	Unit 9 Cupid the Dolphin: Part 1	
	11	Unit 10 Cupid the Dolphin: Part 2	
	12	Unit 11 Cupid the Dolphin: Part 3	
	13	G-TELP	
	14	Unit 12 Saving the Pandas: Part 1	
	15	Unit 13 Saving the Pandas: Part 2	
	16	定期試験	
	キーワード		
	教科書・教材・参考書	[Title] Messages from the Globe - National Geographic Multi-media Reading Course [Author(s)] 山科美知子／横山三鶴／沖野泰子 [Publisher] センゲージラーニング [ISBN] 978-4-86312-187-4 * 参考書等 授業中に適時紹介します。	
	成績評価の方法・基準等	教員評価部分【定期試験60%、授業への積極的な取り組み状況(発表を含む)25%、小テスト15%とし、総合的に評価します。】 * 教員の評価を80%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に評価する。	
	受講要件(履修条件)	原則として全回出席することが求められます。 第1回目の授業では、教室で教科書販売を行います。価格は2415円です。 授業には必ず辞書を持参してください。	
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)			





タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011030	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(K3)		
編集担当教員	松田 雅子		
授業担当教員名(科目責任者)	松田 雅子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松田 雅子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス	mmatsuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部404		
担当教員TEL	819-2740		
担当教員オフィスアワー	月曜日16:00-17:00		
授業のねらい	(1)英語のスピーキング力、リスニング力、読解力をつける (2)英語でコメントしたり、自分の意見を言えるようになる		
授業方法(学習指導法)	リスニング、リピーティング、スピーキング、ペアワーク、レコーディング、ビデオ視聴		
授業到達目標	英語でのスピーキング力をつける		
授業内容	<p>① 日本語は音節が約100、英語は約3000である。英語を話すことができるようになるためには実際に口を動かし、英語の発音の型を学ぶ必要がある。基本的な英語の文型を吹き込んだCDを何度も聞き、声を出して練習する。ICレコーダーに録音し、学習の記録をとる</p> <p>② 英語の映画を見たり、簡単な英語教材をよみ、英語で内容をまとめ、意見を発表する</p> <p>③ いろいろなトピックについて、ペアあるいはグループで話し合う</p> <p>④ 英語のスピーキングテスト(30分)の準備を行う。昶を見て説明したり、4コマ漫画を見てストーリーを作ったり、2つのものの長所短所を比較したり、道を教えるなどである。</p> <p>⑤ G-TELP筆記テスト(学生用資格試験)を受ける。</p> <p>第1回 1課—4課 第2回 5課—8課 第3回 9課—12課 第4回 13課—16課 第5回 17課—20課 第6回 21課—24課 第7回 25課—28課 第8回 29課—32課 第9回 33課—36課 第10回 37課—40課 第11回 スピーキングテスト 第12回 41課—44課 第13回 G-TELP筆記テスト 第14回 45課—48課 第15回 49課—50課review 11-20 第16回 定期試験</p>		
キーワード	英語のスピーキング力、レコーディング		
	英会話なるほど練習帳(アルク、2001)		

教科書・教材・参考書	副教材: Just Like a Movie (ケンブリッジ)
成績評価の方法・基準等	○定期試験 50% G-TELP筆記試験20%、スピーキングテスト10%、宿題20%
受講要件(履修条件)	積極的に学習に取り組む。レコーディングを毎日やる
本科目の位置づけ	スピーキング力の養成は英語学習の基礎である
学習・教育目標	スピーキング力とコミュニケーション力をつける
備考(URL)	
備考(準備学習等)	レコーディング、DVD視聴、副教材を読むなどの家庭学習をしっかりとやる



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水3																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20120590011011	科目番号	05900110																				
授業科目名	●総合英語Ⅱ(E2)																						
編集担当教員	吉村 宗司																						
授業担当教員名(科目責任者)	吉村 宗司																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	吉村 宗司																						
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																						
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]新棟5																						
対象学生(クラス等)	E2																						
担当教員Eメールアドレス	yoshimura@nagasaki-joshi.ac.jp																						
担当教員研究室	非常勤講師控室																						
担当教員TEL																							
担当教員オフィスアワー	授業終了後(14:20~14:30/授業時の教室)																						
授業のねらい	授業のねらい:対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(米語)-必要最低限の英語(米語)-を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に掲げるものである。																						
授業方法(学習指導法)	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声的特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英語(米語)の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。尚、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。																						
授業到達目標	本講座の受講によって、これまで英米語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることを究極の目標に掲げる。																						
授業内容	<p>授業内容(概要)</p> <p>前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、基礎知識、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて比較文化的視座から文化に関する実利的なトピックも織り交ぜつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音 /j/, /w/, /r/, /t/ と /l/ の発音</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/ の脱落、/t/, /d/ のラ音化</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>連結しない場合の /l/, /h/ の脱落、半母音 /j/, /w/ と /n/+/d/ による音変化</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>『閉鎖音の連結による脱落』、『同じ子音の連結による脱落』を聞き取るパターン</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音 /j/ に絡む音変化①)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)	2	『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について	3	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音 /j/, /w/, /r/, /t/ と /l/ の発音	4	子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説	5	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック	6	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/ の脱落、/t/, /d/ のラ音化	7	連結しない場合の /l/, /h/ の脱落、半母音 /j/, /w/ と /n/+/d/ による音変化	8	『閉鎖音の連結による脱落』、『同じ子音の連結による脱落』を聞き取るパターン	9	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音 /j/ に絡む音変化①)
回	内容																						
1	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)																						
2	『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』—分析結果の報告と対策法について																						
3	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音 /j/, /w/, /r/, /t/ と /l/ の発音																						
4	子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説																						
5	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック																						
6	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/ の脱落、/t/, /d/ のラ音化																						
7	連結しない場合の /l/, /h/ の脱落、半母音 /j/, /w/ と /n/+/d/ による音変化																						
8	『閉鎖音の連結による脱落』、『同じ子音の連結による脱落』を聞き取るパターン																						
9	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音 /j/ に絡む音変化①)																						

	10 『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化②)、『調音点が近い子音の連続』
	11 『同化』を聞き取るパターン(3)(/h/の後続音への影響)、On an Airplane(1)
	12 On an Airplane(2)／VTR視聴／ニュースを聞き取る
	13 G-TELP実施 At an Airport(1)／洋楽を聞き取る
	14 At an Airport(2)／Taking a Taxi(1)／洋楽を聞き取る
	15 Taking a Taxi(2)／洋楽を聞き取る／まとめ
	16 定期試験 ※毎回、詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定を変更する場合もある。尚、基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、解説やトレーニングに加え、比較文化的視座から実利的なトピックも交えつつ講義を進めていく。
キーワード	音法
教科書・教材・参考書	(1) 英語リスニング-聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材) (3) アメリカの生活と文化(VTR教材)
成績評価の方法・基準等	G-TELPの結果20%、定期試験70%、受講態度10%等の総合判定によって評価を行なう。
受講要件(履修条件)	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。
本科目の位置づけ	本科目は、英語の四技能習得のうち、実用英語運用能力、即ちリスニングとスピーキングの能力を促進させることに力点を置いた位置づけである。
学習・教育目標	英語国民と円滑なコミュニケーションを図ることができるレベルのリスニング力とスピーキング力を習得することが目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語検定試験などのリスニング部門で高得点をあげることも目標に掲げたい。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	辞書、あるいは電子辞書を準備する。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望ましい。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できる。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!





シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。

学期	後期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011014	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(E4)		
編集担当教員	加島 巧		
授業担当教員名(科目責任者)	加島 巧		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	加島 巧		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]新棟3		
対象学生(クラス等)	Ea		
担当教員Eメールアドレス	kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控え室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスパワー	授業時間の前後		
授業のねらい	ねらい:二種類の英語のテキストを読みながら、様々な練習問題を解いていきます。英語の総合力を高めます。英検2級の問題集に併せて、リスニング能力や速読能力を高めるテキストも使用し、英語の総合力を高めます。		
授業方法(学習指導法)	授業方法(学習指導法):演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解していきます。授業の最初には、リスニングや、速読能力を高める授業を行います。毎回指定された量の自宅学習も必要とされます。		
授業到達目標	到達目標:テキストの英語を辞書無しでも読めることを目指します。付属CDでテキストの内容が聞き取れるようにします。		
授業内容	授業の最初には、English Proficiency Test でウォーミングアップを行います。その後英検の過去問を読んでいきます。かならず指定された部分を予習しておいてください。English Proficiency Test にはテキストとは別に問題集も付属していますので、各自ノートを作成し、毎週指定された部分の問題を解いて行ってまいります。		
	回	内容	
	1	第1回:オリエンテーション	
	2	第2回:Practice Test 1, 英検過去問1	
	3	第3回:Practice Test 2, 英検過去問2	
	4	第4回:Practice Test 3, 英検過去問3	
	5	第5回:Practice Test 4, 英検過去問4	
	6	第6回:Practice Test 5, 英検過去問5	
	7	第7回:Practice Test 6, 英検過去問6	
	8	第8回:Practice Test 7, 英検過去問7	
	9	第9回:Practice Test 8, 英検過去問8	
	10	第10回:Practice Test 9, 英検過去問9	
	11	第11回:Practice Test 10, 英検過去問10	
	12	第12回: 英検過去問11	
	13	第13回:G-TELPテスト	
14	第14回: 英検過去問12		

	15	第15回:英検過去問13とまとめ
	16	第16回:定期試験1月30日
キーワード	英検2級、総合英語	
教科書・教材・参考書	English Proficiency Test (南雲堂)2,100円 2012年度版英検2級 過去6回全問題集(旺文社英検書)1,365円(第一回目の授業時に教室にて販売します)	
成績評価の方法・基準等	定期試験80%、G-TELP20% (出席重視)	
受講要件(履修条件)	定期試験の受験資格は規定による。教科書は2冊必ず購入すること	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		

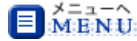


 Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011020	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(E1)		
編集担当教員	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者)	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大坪 有実		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]大教センター3F		
対象学生(クラス等)	E1		
担当教員Eメールアドレス	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	毎週月曜日 12:50~14:30		
授業のねらい	世界が日本をどのように見ているか、各国の新聞記事を読み、どのようなことに世界が注目しているのか、また、新聞記事の内容を通し、正しいこと、間違っていること、疑問に思うことを自身の英語で伝えることをねらいとする。		
授業方法(学習指導法)	一回の授業で一課進む。 前半はリーディング中心で、既習文法の再確認をしながら、英文を正確に読む。 後半はリスニング中心で、新聞記事が取り上げたことについて、リスニング形式の問題を通し、さらに理解を深める。		
授業到達目標	新聞の読み方を理解したうえで、記事の中で何が話題となっているのか、それについて、どのような見解が述べられているのか正確に読み取り、各々の意見が述べられるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction 授業の進め方・諸注意 Japanese Sushi Students Aim for a Job Overseas	
	2	Japan's Leadership Merry-Go-Round	
	3	Sumo's Ties to Japan Underworld Go Beyond Limits	
	4	Japan Retreats With Release of Chinese Boat Captain	
	5	Centenarians "Missing" Ahead of Japanese Day Honouring Elderly	
	6	Spirits, Gods and Pastel Paints: The Weird World of Master Animator Hayao Miyazaki	
	7	Oscar and the Dolphins: Coming to a Japanese Cinema?	
	8	Japan: One Week on and Struggle to Cool nuclear Plant Continues	
	9	Japanese Students Explore Rural Lifestyle	
	10	For The Benefit of Peace	
	11	Japan Comes Closer to Mumbai This Winter	
	12	The Only Filipino Nurse To Pass Japan's Nursing Exam	
	13	G-TELP	
	14	Standard & Poor's Cuts Japan's Sovereign Debt Rating	
	15	Hello Kitty Making Aliyah	

	16 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	The World Watches Japan (南雲堂) ¥1,995
成績評価の方法・基準等	定期試験60% 授業への積極的な取り組み(発表・課題等)40% ←これを80%換算したもの+G-TELPの成績20%
受講要件(履修条件)	授業中、発表してもらいますので、しっかりと予習をした上で授業に臨んでください。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	水3																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20120590011023	科目番号	05900110																				
授業科目名	●総合英語Ⅱ(E3)																						
編集担当教員	中村 吏花																						
授業担当教員名(科目責任者)	中村 吏花																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中村 吏花																						
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																						
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[総]108																						
対象学生(クラス等)	E3																						
担当教員Eメールアドレス	arthur410@hotmail.co.jp (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)																						
担当教員研究室	非常勤講師室																						
担当教員TEL																							
担当教員オフィスマワー	水曜昼休み																						
授業のねらい	英字新聞の特徴(その独特の表現や専門用語)を知る。世界のニュースに触れ、世界中で起こっているさまざまな出来事を知り、その背景を理解する。また、日本の現状を客観的に見る目を養う。高校までに学習してきた英語の基礎的な文法事項を再確認する。新出語句や表現を習得する。英語の音の特徴を知り、慣れる。																						
授業方法(学習指導法)	必ず予習をして授業に出席すること。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらう。英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など英語を読み・聞く訓練をする。授業中にそれぞれの問題のポイントと、内容を理解する。重要文法事項を解説する。																						
授業到達目標	基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することが出来る。英語の4技能を総合的に向上させる。																						
授業内容	<p>始めに速読、それから精読を意識して、本文の内容を確認する。語句・表現・文法の解説をする。英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるため、ディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。授業には必ず予習をして臨み、辞書を持参してください。(電子辞書可。携帯電話は使用不可)。英文記事を読みながら、英字新聞特有の英語の決まりを知り、練習問題を通して英文記事を読む事に慣れていきましょう。テキストを読むことと平行して、図書館やインターネットで自分の興味のある分野の英字新聞記事を読む訓練もやってみましょう。内容がよくつかめない時は、何がわからないのかを明らかにさせてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているのか、など、細かく確認していくと、わからないところがはつきりすると思います。速読・精読を意識して記事を読んでいきましょう。*教室に座っていれば出席というものではありません。予習をして授業に臨み(予習が十分にできていない場合は出席とはみなしません)、他の人の発表に耳を傾け、疑問があれば質問し、積極的に授業に取り組んで初めて出席とみなします。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めず。それより遅い入室は欠席扱いとします。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 10月3日 Introduction</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 10月10日 見出しの特徴</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 10月17日 見出しと書き出し(1)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 10月24日 見出しと書き出し(2)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 10月31日 インターネットで記事を探す</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 11月7日 本文(世界のニュース)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 11月14日 本文(世界のニュース)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 11月21日 本文(日本に関するニュース)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 11月28日 本文(日本に関するニュース)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 10月3日 Introduction	2	第2回 10月10日 見出しの特徴	3	第3回 10月17日 見出しと書き出し(1)	4	第4回 10月24日 見出しと書き出し(2)	5	第5回 10月31日 インターネットで記事を探す	6	第6回 11月7日 本文(世界のニュース)	7	第7回 11月14日 本文(世界のニュース)	8	第8回 11月21日 本文(日本に関するニュース)	9	第9回 11月28日 本文(日本に関するニュース)
回	内容																						
1	第1回 10月3日 Introduction																						
2	第2回 10月10日 見出しの特徴																						
3	第3回 10月17日 見出しと書き出し(1)																						
4	第4回 10月24日 見出しと書き出し(2)																						
5	第5回 10月31日 インターネットで記事を探す																						
6	第6回 11月7日 本文(世界のニュース)																						
7	第7回 11月14日 本文(世界のニュース)																						
8	第8回 11月21日 本文(日本に関するニュース)																						
9	第9回 11月28日 本文(日本に関するニュース)																						

	10	第10回 12月5日 本文(経済に関するニュース)
	11	第11回 12月12日 本文(経済に関するニュース)
	12	第12回 12月19日 本文(文化に関するニュース)
	13	第13回 1月9日 G-TELP
	14	第14回 1月16日 発表(1)
	15	第15回 1月23日 発表(2)
	16	第16回 1月30日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	毎回、プリントを配布する予定です。欠席をしてプリントを受け取れなかった場合は、必ず次の授業までにクラスの人から見せてもらうか、メールで教員まで問い合わせること。	
成績評価の方法・基準等	定期試験60%、発表10%、積極的な授業への参加状況10%、G-TELP20%	
受講要件(履修条件)	3分の2以上の出席がないと定期試験を受験できません。(入院・出席停止の伝染病等を除き、病欠も欠席扱いとします)。 正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		





シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 [印刷](#)

シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011034	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(K1)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	Ka		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、環境問題を取り扱ったauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、題材には環境問題に関わるものを選択し、学部教育への橋渡しのものを用いる。		
授業内容	回	内容	
	1	10月3日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、授業で取り上げるスキルの概要説明	
	2	10月10日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	3	10月17日 第3回 Voice Aerobics、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	4	10月24日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)	
	5	10月31日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)	
	6	11月7日 第6回 弱く発音される音、速読(phrase reading)	
	7	11月14日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)	
	8	11月21日 第8回 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2)	
	9	11月28日 第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2)、映画による聞き取り(3)	

	10	12月5日 第10回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4)
	11	12月12日 第11回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3), 速読(phrase reading)
	12	12月19日 第12回 つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading)
	13	1月9日 第13回 G-TELPテスト
	14	1月16日 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6)
	15	1月23日R 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として), グループによるディスカッション(2)
	16	
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り、Plain English訓練テキスト (Cultural Encounters: センゲージ) 速読教材としては、各種英字新聞から環境、水産資源、生物に関わる話題を精選し、教材とする。	
成績評価の方法・基準等	まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは毎回行う。総合英語IIIは、英語共通テスト(G-TELP)が2割、教員担当分8割で評価がなされます。	
受講要件(履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！	
本科目の位置づけ	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。	
学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)		





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011037	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(P1)		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教]13講義室		
対象学生(クラス等)	P1		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィスパワー	火4 水2 木3		
授業のねらい	このクラスは、幕末の長崎における医学・薬学・工学に関する近代化の歴史を学びながら、リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。		
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定された英文テキストは、大意を取る練習をします。また細かな部分の読解は、テスト形式のプリントを解きながら、行ないます。指定された範囲をきちんと読んで、予習しておくことも大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習や専門語彙修得を図ります。さらに、e-learning 教材も課し学力の向上をはかるとともに、評価にも加えます。		
授業到達目標	<p>テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Word 約200語およびテキスト中のWords and Phrases 約300語の計500語を確実に意味がわかるようにします。また、テキスト中に指定してあるKey Sentenceとして、約60の構文が書けるようにします。同時にCDを使い、その構文が言えるようにします。また語彙集得のためのe-learning 教材パワーワーズのレベル4の語彙を修得します。</p> <p>授業の最初には、英語構文や英単語の小テストを行います。これは、テキストからテスト範囲を毎回指定しますから、家庭で必ずテキストについているCDを使いながら学習してきてください。成績の10%は、この小テストにて評価されます。</p> <p>その後、テキストを用いてリーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。テキストの詳細の部分は、テスト形式のプリントを用いて、効率的に行ないます。</p> <p>またプリント教材を用いて、リスニングの練習や語彙の強化の練習をします。e-learning 教材パワーワーズレベル4を授業中の一部を利用して行うとともに、残りは授業外の学習として、指定するペースで各自学習してもらいます。</p> <p>さらに、最新の英字新聞から面白い記事を読むことにも挑戦します。ここでは、速読の練習をします。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p>		
	回	内容	
	1	オリエンテーション Unit 1. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (1)	
	2	Unit 2. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (2) 英字新聞記事1 e-learning Power Words Level 4 Unit1~5	
		Unit 3. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (1)	

授業内容	3	英字新聞記事1 e-learning Power Words Level 4 Unit6~10	
	4	Unit 4. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (2) 英字新聞記事1 e-learning Power Words Level 4 Unit11~15	
	5	Unit 5. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) 英字新聞記事2 e-learning Power Words Level 4 Unit16~20	
	6	Unit 6. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) 英字新聞記事2 e-learning Power Words Level 4 Unit21~25	
	7	Unit 7. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) 英字新聞記事2 e-learning Power Words Level 4 Unit26~30	
	8	Unit 8. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) 英字新聞記事3 e-learning Power Words Level 4 Unit31~34	
	9	Unit 9. The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy 英字新聞記事3 e-learning Power Words Level 4 Unit35~38	
	10	Unit10. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (1) 英字新聞記事3 e-learning Power Words Level 4 Unit39~42	
	11	Unit 11. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (2) 英字新聞記事4 e-learning Power Words Level 4 Unit43~45	
	12	Unit 12. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (3) 英字新聞記事4 e-learning Power Words Level 4 Unit46~48	
	13	G-TELP テスト 英字新聞記事5	
	14	まとめUnit 13. Steam Factory Nagasaki 1856 英字新聞記事5 e-learning Power Words Level 4 Unit49~50 Power Words 実力テスト	
	15	Unit 14. Growth 1861-1865 Power Words 実力テスト	
	16	定期試験	
	キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
	教科書・教材・参考書	教科書(テキスト):Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan (EIKO-SHA) (CD付) 1,795円 英字新聞1部 10円(第1回目の授業時に教室にてテキストと英字新聞をセットで販売します) 教材 :プリント教材 毎回配布します。	
成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、毎回の小テスト10%、授業中の発表10%、G-TELP 20%、e-learning 10%で行います。		
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の13回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。		





タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水4																												
開講期間																															
必修選択	必	単位数	1.0																												
時間割コード	20120590011004	科目番号	05900110																												
授業科目名	●総合英語Ⅱ(L4)																														
編集担当教員	稲田 俊明																														
授業担当教員名(科目責任者)	稲田 俊明																														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲田 俊明																														
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																														
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																												
教室	[全]新棟3																														
対象学生(クラス等)	L4																														
担当教員Eメールアドレス	inada@lit.kyushu-u.ac.jp																														
担当教員研究室																															
担当教員TEL																															
担当教員オフィスアワー	火曜2限(事前にメールで連絡すること)																														
授業のねらい	"英語の読解力と日本語・英語による要約する力を養う。 短い英文について、リスニング能力を養う。"																														
授業方法(学習指導法)	"下記の「授業内容」欄に記された教材を使って、英文の読解、要約、聞き取りを行う。 必要に応じて、宿題によって課題の提出を求める。 "																														
授業到達目標	"英語で書かれた論説やニュース記事について、日本語で簡潔に要約ができるようになる。 英語で書かれた論説やニュース記事について、英語で要約ができるようになる。 課題について、英語でまとめる基礎的な作文技術を身に付ける。"																														
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>1. TBA (速読 1)</td></tr> <tr><td>2</td><td>2. TBA (速読 2 + 聞き取り)</td></tr> <tr><td>3</td><td>3. Quiz 1 (語彙、表現)</td></tr> <tr><td>4</td><td>4. TBA (速読3 + 聞き取り)</td></tr> <tr><td>5</td><td>5. TBA (大学生生活の英語)</td></tr> <tr><td>6</td><td>6. Quiz 2 (語彙、表現)</td></tr> <tr><td>7</td><td>7. TBA (新聞の英語)</td></tr> <tr><td>8</td><td>8. TBA (大学新聞の英語)</td></tr> <tr><td>9</td><td>9. Quiz 3 (語彙、表現、聞き取り)</td></tr> <tr><td>10</td><td>10. TBA (英文要約 1)</td></tr> <tr><td>11</td><td>11. TBA (英文要約 2)</td></tr> <tr><td>12</td><td>12. Quiz 4 (語彙、表現、聞き取り)</td></tr> <tr><td>13</td><td>13. G-TELP</td></tr> </tbody> </table>			回	内容	1	1. TBA (速読 1)	2	2. TBA (速読 2 + 聞き取り)	3	3. Quiz 1 (語彙、表現)	4	4. TBA (速読3 + 聞き取り)	5	5. TBA (大学生生活の英語)	6	6. Quiz 2 (語彙、表現)	7	7. TBA (新聞の英語)	8	8. TBA (大学新聞の英語)	9	9. Quiz 3 (語彙、表現、聞き取り)	10	10. TBA (英文要約 1)	11	11. TBA (英文要約 2)	12	12. Quiz 4 (語彙、表現、聞き取り)	13	13. G-TELP
回	内容																														
1	1. TBA (速読 1)																														
2	2. TBA (速読 2 + 聞き取り)																														
3	3. Quiz 1 (語彙、表現)																														
4	4. TBA (速読3 + 聞き取り)																														
5	5. TBA (大学生生活の英語)																														
6	6. Quiz 2 (語彙、表現)																														
7	7. TBA (新聞の英語)																														
8	8. TBA (大学新聞の英語)																														
9	9. Quiz 3 (語彙、表現、聞き取り)																														
10	10. TBA (英文要約 1)																														
11	11. TBA (英文要約 2)																														
12	12. Quiz 4 (語彙、表現、聞き取り)																														
13	13. G-TELP																														

	14	14. 英文メール作成練習1
	15	15. 英文メール作成練習2
	16	16. 期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	授業で配布する。	
成績評価の方法・基準等	出席20%、G-TELP 20%、授業中の課題20%、期末テスト40%	
受講要件(履修条件)	同クラスの履修経験のないもの	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011005	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(L5)		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]323		
対象学生(クラス等)	教育(L5)		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	Emailにより受け付ける		
授業のねらい	テキストを用いながらリーディング力を培う。具体的には、トピックセンテンスを中心としたパラグラフ・リーディングと語彙や文構造に着目する精読の二通りのリーディング力を育成する。また、基礎的なリスニング力を養成する。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、自然なスピードで短い会話文を聞き、質問に回答するリスニングテストを行う。後半では、テキストを要約あるいは精読するが、前もって学生を指名しておき発表してもらい、その後、質問等によりリーディングの指導を行う。		
授業到達目標	リーディングでは、目的や場面に応じて、速読と精読を使い分けることができるようになる。リスニングでは、基礎的なリスニング力と基本的な表現を身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction (Sample Test)	
	2	Chapter 1 Knowledge is Power, But Whose?	
	3	Chapter 2 The Magic of Harry Potter	
	4	Chapter 3 The Fast-Food Revolution	
	5	Chapter 4 Beauty is in the Eye of the Beholder	
	6	Chapter 5 One World, One Language?	
	7	Chapter 6 A Gray Future?	
	8	Chapter 7 'Til Death Us Do Apart? Marriage and Divorce in the 21st Century	
	9	Chapter 8 The Pursuit of Happiness	
	10	Chapter 9 The World Through Rose-tinted Glasses	
	11	Chapter 10 ... And the Slow-Food Rebellion	
	12	Chapter 11 The War for Talent	
	13	G-TELP	
	14	Chapter 12 China and India--the Future of the World?	
	15	まとめ	
16	定期試験		

キーワード	reading, academic writing, knowledge, information
教科書・教材・参考書	John Barton, Anthony Sellick, 島村法夫, 星久美子 Knowledge is Power, 松柏社, 1800円(税込)
成績評価の方法・基準等	リスニングテストの平均点(20%)、G-TELP(20%)、授業時の発表(10%)、定期試験(50%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	基礎的なリーディング力及びリスニング力を養う。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	必ず予習をして授業に臨むこと。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011021	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(L6)		
編集担当教員	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者)	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大坪 有実		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]大教センター3F		
対象学生(クラス等)	L6		
担当教員Eメールアドレス	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	毎週月曜日 12:50~14:30		
授業のねらい	モナ・リザ、ハイチ、自家発電など、多岐にわたる英文を読み、何が話題となっているか、各課の著者は何を伝えようとしていたのかを正確に読み取り、自身の意見を述べるができる。		
授業方法(学習指導法)	一回の授業で一課進む。 前半はリーディング中心で、既習文法を再確認しながら、英文を正確に読む。 後半はライティング中心で、各課の中で取り上げられた文法、新出単語等を用いた練習問題を通し、理解を深める。		
授業到達目標	パラグラフリーディングを通し、各課で何が話題になっているのか、また、著者がどのような考えを持っているのか、正確に読み取り、各々、英文を読んで思ったことを伝えることができる。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction 授業の進め方・諸注意 Mona Lisa- A Mysterious Painging	
	2	Giving Haitians a Picture of Health	
	3	The Asia Cup 2011	
	4	TOKIO and Dankichi	
	5	Mining Expert Helps Botswana Exploit Resources	
	6	Free Energy	
	7	What's the Most Difficult Language?	
	8	1000 Awesome Things	
	9	Triumph of Faith and Will	
	10	A Talk with Kevin Rudd	
	11	The Young Volunteers	
	12	Job-hunting System Needs Work	
	13	G-TELP	
	14	Simple Writing Exercise & Easing Anxiety	
	15	A Happy Coexistence	

	16 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	総合英語 Vision (三修社) ¥1,785
成績評価の方法・基準等	定期試験60% 授業への積極的な取り組み(発表・課題等)40% ←これを80%換算したものとG-TELPの成績20%
受講要件(履修条件)	授業中、発表してもらいますので、しっかりと予習をした上で授業に臨んでください。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011038	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(L1)		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	L1		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィサー	火4 水2 木3		
授業のねらい	このクラスは、テキストを利用して、リスニング力や速読の練習を行い、そのスキルを大幅に向上させます。またプリント教材により毎回ニュース英語を読みリーディング力と語彙力の養成を行います。音読の訓練も行い、スピーキング面での強化も行います。		
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定されたテキストと配付のプリント教材を用いて、大意を取る練習をします。また細かな部分はブレーズリーディングで速読します。またテキストを用いて、リスニングの練習をたくさん行い、リスニングストラテジーによるリスニングスキルを身につけます。そして、e-learning 教材を授業の一部で行なうとともに、多くの部分は範囲を指定して、授業外学習をしてもらいます。また、最新の英字新聞を利用して、速読の練習も行います。		
授業到達目標	<p>プリント教材のテキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。テキストのファーストパラグラフがリピーティングできるようにします。</p> <p>また教科書の歌や歌詞が80%聞き取れるようにします。教科書の課題例文120を修得します。</p> <p>e-learning 教材パワーワーズレベル3の80%を修得します。</p> <p>授業の最初には、前回学習したプリントのテキストの第1パラグラフのリピーティングからはじめます。家庭で必ず練習してください。</p> <p>その後、リーディングの練習をします。学生はテキストや英字新聞の指示された範囲を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。</p> <p>教科書の歌の歌詞をCDを用いて聞き取る練習をし、リスニングスキルをアップさせます。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業外でe-learning教材にも挑戦してもらいます。その進捗度も評価に加えます。</p> <p>担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p>		
	回	内容	
	1	オリエンテーション Take Me Out to the Ball Game e-learning Power Pords Level 3 Unit.1 英字新聞記事1	
	2	Edelweiss, Amazing Grace e-learning Power Pords Level 3 Unit.2~4 英字新聞記事1	
	3	Puff e-learning Power Pords Level 3 Unit.5~8 英字新聞記事1	

授業内容	4	Unchained Melody e-learning Power Pords Level 3 Unit.9~12 英字新聞記事2	
	5	Over the Rainbow e-learning Power Pords Level 3 Unit.13~16 英字新聞記事2	
	6	Where Have All the Flowers Gone? e-learning Power Pords Level 3 Unit.17~20 英字新聞記事2	
	7	Tennessee Waltz e-learning Power Pords Level 3 Unit.21~24 英字新聞記事3	
	8	My Way e-learning Power Pords Level 3 Unit.25~28 英字新聞記事3	
	9	Dreaming Home and Mother e-learning Power Pords Level 3 Unit.29~32 英字新聞記事3	
	10	Long Long Ago e-learning Power Pords Level 3 Unit.33~36 英字新聞記事4	
	11	Grandfather's Clock e-learning Power Pords Level 3 Unit.37~40 英字新聞記事4	
	12	I've Working on the Railroad e-learning Power Pords Level 3 Unit.41~43 英字新聞記事4	
	13	英字新聞記事5 G-TELP 試験とまとめ	
	14	Beautiful Dreamer e-learning Power Pords Level 3 Unit.44~47	
	15	We wish you a Merry Christmas e-learning Power Pords Level 3 Unit.48~50 英字新聞記事5	
	16	定期試験	
	キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
	教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): English Melodies of the Heart (CD付) (英光社)1,795円 英字新聞 10円 (第1回目の授業時に教室にてセットで販売します) 教材 : プリント教材 毎回配布します。	
	成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20% 授業中の発表(小テスト含む)10%で行います。	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)			





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	水4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011040	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(L2)		
編集担当教員	稲毛 逸郎		
授業担当教員名(科目責任者)	稲毛 逸郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲毛 逸郎		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教]42講義室		
対象学生(クラス等)	L2(教育学部1年次生)		
担当教員Eメールアドレス	inage@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部 6F 618 研究室		
担当教員TEL	095-819-2093		
担当教員オフィスアワー	水曜日 16:10~17:40		
授業のねらい	前期までの英語学習を踏まえて、英語の読む・書く・聞く・話すの4技能の能力をさらに伸ばし、総合的な英語運用能力を育成することをねらいとする。		
授業方法(学習指導法)	英語の会話文の聞き取り練習を基に、書く・話す練習を行い、また、リーディング用教材を用いて、要点を押さえながらできる限り速く読み進める訓練を行う。		
授業到達目標	英語の4技能の訓練を通して、英検準1級程度の試験に合格できる総合的英語力の育成を目標とする。		
授業内容	16回目 定期試験実施		
	回	内容	
	1	受講にあたっての諸注意、授業内容についての導入 Unit 1 Slice, Dice and Play Scanning のスキルについて	
	2	Unit 2 Saving Traditional Food Using Titles to Understand Main Ideas (Gist)	
	3	Unit 3 The Basket Project Skimming for the Main Idea	
	4	Unit 4 The "Mods" and "Rockers" Recognizing Sequence of Events	
	5	Unit 5 Winning the Golden Ticket Identifying Main Ideas within Paragraphs (1)	
	6	Unit 6 Great Lady of Nazca Predicting のスキル	
	7	Unit 7 Who's Smarter Inferring のスキル	
	8	Unit 8 Of Walls and Eggs Identifying Main and Supporting Ideas	
	9	Unit 9 Vertical Farming Understanding Main Ideas (Gist)	
10	Unit 10 Is It Dance or Martial Art?		

	Identifying Main Ideas within Paragraphs (2)
	11 Unit 11 The Ubiquitous Bow Developing Reading Fluency (1)
	12 Unit 12 How Do You Start? Developing Reading Fluency (2)
	13 G-TELP 試験実施
	14 Unit 13 People on the Move Developing Reading Fluency (3)
	15 Unit 14 Hot Coffee, Please! Developing Reading Fluency (4)
	16 定期試験実施
キーワード	英語の4技能、総合的訓練
教科書・教材・参考書	Reading Wizard 金星堂
成績評価の方法・基準等	期末試験(70%)、G-TELP の成績(20%)、授業での活動に対する積極的な取り組み状況(10%)を基準に評価する。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	既習外国語
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の13回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1645秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011015	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(M4)		
編集担当教員	島山 均		
授業担当教員名(科目責任者)	島山 均		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	島山 均		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]大教センター2F		
対象学生(クラス等)	M4		
担当教員Eメールアドレス	hatakeyama@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー	木曜日の授業の前後、非常勤講師室にて		
授業のねらい	Voice of Americaを素材として作成された教材を使い、主としてlistening、speaking、reading、の能力の向上を目的とする。特に音読の練習を重視し、英文を自然に読める能力を身に付ける。		
授業方法(学習指導法)	小テスト、テキストに従いlistening、reading、音読(発音、イントネーション、リズム能力)向上のために演習。		
授業到達目標	まとまった内容の英文を自然な英語の発音でスムーズに読め、かつ暗唱できる。 まとまった内容の英文を細部までしっかりと内容を理解できるように聞き取りれる。		
授業内容	テキストにしたがって英語での演習を行う。毎回、小テストまたは音読テストを行う。 必ず予習をしてくる事。		
	回	内容	
	1	Orientation 授業の目的、概要、成績評価の基準などの説明	
	2	Unit 1 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	3	Unit 2 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	4	Unit 3 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	5	Unit 4 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	6	Unit 5 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	7	Unit 6 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	8	Unit 7 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	9	Unit 8 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	10	Unit 9 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	11	Unit 10 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	12	Unit 11 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
	13	G-TELP	
	14	Unit 12 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習	
15	音読テスト		
16	定期試験(筆記試験)		

キーワード	
教科書・教材・参考書	安波誠祐・Richard Levin (2011) The Global Health and Environment: VOA Topics from Around the World 松柏社.
成績評価の方法・基準等	毎時間実施の小テスト---30% 音読テスト-----20% 期末試験-----30% G-TELP-----20%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『全学教育』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。 [印刷](#)

シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	木4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011006	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(M1)		
編集担当教員	稲田 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	稲田 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲田 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教]42講義室		
対象学生(クラス等)	M1		
担当教員Eメールアドレス	inada@lit.kyushu-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	火曜2限(事前にメールで連絡すること)		
授業のねらい	"英語の読解力と日本語・英語による要約する力、課題について英語で論述する力を養う。 短い英文のリスニングの能力を養う。"		
授業方法(学習指導法)	"下記の「授業内容」欄に記された教材を使って、英文の読解、要約、聞き取りを行う。 必要に応じて、宿題によって課題の提出を求める。"		
授業到達目標	"英語で書かれた論説やニュース記事について、日本語で簡潔に要約ができるようになる。 英語で書かれた論説やニュース記事について、英語で要約ができるようになる。 課題について、英語でまとめる基礎的な作文技術を身に付ける。"		
授業内容	回	内容	
	1	1. TBA(速読1)	
	2	2. TBA(速読2)	
	3	3. Quiz 1(語彙、表現)	
	4	4. TBA(大学新聞の英語1)	
	5	5. TBA(大学新聞の英語2)	
	6	6. Quiz 2(語彙、表現)	
	7	7. TBA(新聞の英語1)	
	8	8. TBA(新聞の英語2)	
	9	9. Quiz 3(語彙、表現、聞き取り)	
	10	10. TBA(英文要約1)	
	11	11. TBA(英文要約2)	
	12	12. Quiz 4(語彙、表現、聞き取り)	
	13	13. G-TELP	
14	14. 課題作文2		

	15	15. まとめ
	16	16. 期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	授業で配布する。	
成績評価の方法・基準等	出席20%、G-TELP 20%、授業中の課題20%、期末テスト40%	
受講要件(履修条件)	同クラスの履修経験のないもの	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	木4																												
開講期間																															
必修選択	必	単位数	1.0																												
時間割コード	20120590011012	科目番号	05900110																												
授業科目名	●総合英語Ⅱ(D1・2)																														
編集担当教員	山口 敦子																														
授業担当教員名(科目責任者)	山口 敦子																														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山口 敦子																														
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																														
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																												
教室	[全]新棟4																														
対象学生(クラス等)	D1・2																														
担当教員Eメールアドレス																															
担当教員研究室	非常勤講師控室																														
担当教員TEL	095(846)0084																														
担当教員オフィスパワー	授業終了後																														
授業のねらい	幕末の長崎における医学、薬学、工学の近代化に関するテキストを講読し、英語の読解力を強化する。CDを使用しながら、リスニング力を向上させ、英文のリズムを体得する。日本の医学、薬学、工学の歴史についての知識を深めながら、各分野の専門用語の習得に努める。																														
授業方法(学習指導法)	毎回和訳とリスニングを中心にテキストを読み進める。あらかじめ指定された担当者はテキストを音読し、和訳を発表する。																														
授業到達目標	語彙力、文法力を強化するとともに、論理的な英文の構造に慣れ、将来専門分野における論文を読みこなせる力に繋げる。幕末の長崎でいかに西洋の医学、薬学、工学の知識や技術が導入され、発展してきたかに関するテキストを読むことで、発展に貢献した先人たちのバイオニア精神を学び、国際的な知識の交流に対する関心を高める。																														
授業内容	<p>毎回和訳とリスニングを中心に一つのユニットを読み進める。あらかじめ指定された担当者はテキストを読み、和訳を発表する。受講生は前もってユニットの予習、CDによるリスニングの練習、内容把握や語彙確認のための付属の問題演習を行い、授業に備えておく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>イントロダクション 幕末の長崎について</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Unit1 西洋技術を伝えたブルック博士(1)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Unit2 西洋技術を伝えたブルック博士(2)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Unit3 日本最初の医学校の創始者ボンベ博士(1)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Unit4 日本最初の医学校の創始者ボンベ博士(2)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Unit5 オランダ海軍と日本への技術移転(1)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Unit6 オランダ海軍と日本への技術移転(2)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Unit7 オランダ海軍と日本への技術移転(3)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>Unit8 オランダ海軍と日本への技術移転(4)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>Unit9 西洋式化学と薬学の導入</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>Unit10 オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本の関係(1)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Unit11 オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本の関係(2)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>G-TELP</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	イントロダクション 幕末の長崎について	2	Unit1 西洋技術を伝えたブルック博士(1)	3	Unit2 西洋技術を伝えたブルック博士(2)	4	Unit3 日本最初の医学校の創始者ボンベ博士(1)	5	Unit4 日本最初の医学校の創始者ボンベ博士(2)	6	Unit5 オランダ海軍と日本への技術移転(1)	7	Unit6 オランダ海軍と日本への技術移転(2)	8	Unit7 オランダ海軍と日本への技術移転(3)	9	Unit8 オランダ海軍と日本への技術移転(4)	10	Unit9 西洋式化学と薬学の導入	11	Unit10 オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本の関係(1)	12	Unit11 オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本の関係(2)	13	G-TELP
回	内容																														
1	イントロダクション 幕末の長崎について																														
2	Unit1 西洋技術を伝えたブルック博士(1)																														
3	Unit2 西洋技術を伝えたブルック博士(2)																														
4	Unit3 日本最初の医学校の創始者ボンベ博士(1)																														
5	Unit4 日本最初の医学校の創始者ボンベ博士(2)																														
6	Unit5 オランダ海軍と日本への技術移転(1)																														
7	Unit6 オランダ海軍と日本への技術移転(2)																														
8	Unit7 オランダ海軍と日本への技術移転(3)																														
9	Unit8 オランダ海軍と日本への技術移転(4)																														
10	Unit9 西洋式化学と薬学の導入																														
11	Unit10 オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本の関係(1)																														
12	Unit11 オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本の関係(2)																														
13	G-TELP																														

	14	Unit12 オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本の関係(3)
	15	Unit15 1850年頃の医学の概観
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	『幕末・近代化の先覚者たち—幕末の長崎を英語で読み解く—』(英光社)	
成績評価の方法・基準等	授業中への積極的な取り組み状況:10点 G-TELP:20点 定期試験:70点	
受講要件(履修条件)	必ず予習をして望むこと。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	木4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011039	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(M5)		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]125		
対象学生(クラス等)	M5		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィサー	火4 水2 木3		
授業のねらい	このクラスは、テキストを利用して、リスニング力や速読の練習を行い、そのスキルを大幅に向上させます。またプリント教材により毎回ニュース英語を読みリーディング力と語彙力の養成を行います。音読の訓練も行い、スピーキング面での強化も行います。		
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定されたテキストと配付のプリント教材を用いて、大意を取る練習をします。また細かな部分はブレーズリーディングで速読します。またテキストを用いて、リスニングの練習をたくさん行い、リスニングストラテジーによるリスニングスキルを身につけます。そして、e-learning 教材を授業の一部で行なうとともに、多くの部分は範囲を指定して、授業外学習をしてもらいます。また、最新の英字新聞を利用して、速読の練習も行います。		
授業到達目標	プリント教材のテキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。テキストのファーストパラグラフがリピーティングできるようにします。 また教科書の歌や歌詞が80%聞き取れるようにします。教科書の課題例文120を修得します。 e-learning 教材パワーワーズレベル3の80%を修得します。		
	授業の最初には、前回学習したプリントのテキストの第1パラグラフのリピーティングからはじめます。家庭で必ず練習してきてください。 その後、リーディングの練習をします。学生はテキストや英字新聞の指示された範囲を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。 教科書の歌の歌詞をCDを用いて聞き取る練習をし、リスニングスキルをアップさせます。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業外でe-learning教材にも挑戦してもらいます。その進捗度も評価に加えます。 担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション Take Me Out to the Ball Game e-learning Power Pords Level 3 Unit.1 英字新聞記事1	
	2	Edelweiss, Amazing Grace e-learning Power Pords Level 3 Unit.2~4 英字新聞記事1	
	3	Puff e-learning Power Pords Level 3 Unit.5~8 英字新聞記事1	

授業内容	4	Unchained Melody e-learning Power Pords Level 3 Unit.9~12 英字新聞記事2	
	5	Over the Rainbow e-learning Power Pords Level 3 Unit.13~16 英字新聞記事2	
	6	Where Have All the Flowers Gone? e-learning Power Pords Level 3 Unit.17~20 英字新聞記事2	
	7	Tennessee Waltz e-learning Power Pords Level 3 Unit.21~24 英字新聞記事3	
	8	My Way e-learning Power Pords Level 3 Unit.25~28 英字新聞記事3	
	9	Dreaming Home and Mother e-learning Power Pords Level 3 Unit.29~32 英字新聞記事3	
	10	Long Long Ago e-learning Power Pords Level 3 Unit.33~36 英字新聞記事4	
	11	Grandfather's Clock e-learning Power Pords Level 3 Unit.37~40 英字新聞記事4	
	12	I've Working on the Railroad e-learning Power Pords Level 3 Unit.41~43 英字新聞記事4	
	13	英字新聞記事5 G-TELP 試験とまとめ	
	14	Beautiful Dreamer e-learning Power Pords Level 3 Unit.44~47	
	15	We wish you a Merry Christmas e-learning Power Pords Level 3 Unit.48~50 英字新聞記事5	
	16	定期試験	
	キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
	教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): English Melodies of the Heart (CD付) (英光社)1,795円 英字新聞 10円 (第1回目の授業時に教室にてセットで販売します) 教材 : プリント教材 毎回配布します。	
	成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20% 授業中の発表(小テスト含む)10%で行います。	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)			





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。 [印刷](#)

シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011007	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(K4)		
編集担当教員	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者)	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	奥田 阿子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]新棟6		
対象学生(クラス等)	(K4)		
担当教員Eメールアドレス	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問受付時間:金曜日1限目 教員Eメールアドレス宛に質問も可		
授業のねらい	英語圏への留学、TOEICの受験などを想定し、大学生としてふさわしい実践的な英語の運用能力を養成します。		
授業方法(学習指導法)	この授業では、リスニング及び語彙の基礎力を養成することを目指します。教材の内容理解度及び学習ペース設定のため、毎週、小テストを実施します。授業中は、小テストの他にグループワークを取り入れ、グループでの発表に備えた作業を行ってもらいながら運用能力の養成を図ります。		
授業到達目標	各単語を逐一聞き取ろうとするのではなく、5語前後から成るフレーズに注目し、そのフレーズ全体の内容を理解するような姿勢でリスニング出来るようになること。また、情報収集を行ったものに対し、英語を用いて相手に伝えられるようになること。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	教材の説明、学習方法の説明	
	3	小テスト、グループワーク	
	4	小テスト、グループワーク	
	5	小テスト、グループワーク	
	6	小テスト、グループワーク	
	7	小テスト、グループワーク	
	8	小テスト、発表	
	9	小テスト、グループワーク	
	10	小テスト、グループワーク	
	11	小テスト、グループワーク	
	12	小テスト、グループワーク	
	13	G-TELP実施	
14	小テスト、グループワーク		

	15 小テスト、発表
	16 期末試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	Messages Our Future
成績評価の方法・基準等	"期末テスト、小テスト、学習態度を、おおよそ以下の比率で総合的に評価する。 期末テスト:20% 小テスト:20% 自習状況を含む学習態度:40% G-TELP:20%"
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011016	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(T10)		
編集担当教員	古場 なおみ		
授業担当教員名(科目責任者)	古場 なおみ		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古場 なおみ		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教]24講義室		
対象学生(クラス等)	工学(T10)		
担当教員Eメールアドレス	kobaknke@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	講義の前後		
授業のねらい	(1)健康問題、食品関係、さらに医療を含め「健康」を題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、読解、TOEIC形式の問題等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。(2)AP通信などのニュース英語に慣れ親しむ。		
授業方法(学習指導法)	講義形式でテキストを進める。		
授業到達目標	国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明	
	2	The Picture of Health, Unit 1	
	3	The Picture of Health, Unit 2	
	4	The Picture of Health, Unit 3	
	5	The Picture of Health, Unit 4	
	6	The Picture of Health, Unit 5	
	7	The Picture of Health, Unit 6	
	8	The Picture of Health, Unit 7	
	9	The Picture of Health, Unit 8	
	10	The Picture of Health, Unit 9	
	11	The Picture of Health, Unit 10	
	12	G-TELP	
	13	The Picture of Health, Unit 11	
	14	The Picture of Health, Unit 12	
	15	The Picture of Health, Unit 13 & Review	
16	期末試験		
キーワード			

教科書・教材・参考書	The Picture of Health (南雲堂)
成績評価の方法・基準等	教員評価分80%(定期試験70%、小テスト、出席、授業への積極的な取り組み30%) G-TELP20%
受講要件(履修条件)	毎回の予習、10回以上の出席
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	授業で指示



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。 

シラバス参照

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011017	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(T8)		
編集担当教員	山田 健太郎		
授業担当教員名(科目責任者)	山田 健太郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山田 健太郎		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[環]341		
対象学生(クラス等)	T8		
担当教員Eメールアドレス	k-yamada@sun.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスマワー			
授業のねらい	リーディングとリスニングに重点をおきながら、英語の4技能(リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング)を総合的に向上させることをめざす。		
授業方法(学習指導法)	具体的には、英文学習雑誌English-Plusの中から、比較的短くて読みやすいエッセイを選び、1回の授業で1エッセイを読む。これとは別にTOEICの練習問題を毎回して、目標を意識した学習を心がける。ディクテーション・テストも組み入れてリスニング力も強化する。		
授業到達目標	TOEIC500点以上の英語力		
授業内容	<p>英語力鍛錬のため、毎回英英辞典を使ったクイズ、課題エッセイについての英問英答、TOEIC対策テキストを数ページする。数回おきにテキスト指定箇所のディクテーションテストを行なう。適宜実力テストを実施する。</p> <p>第1回 オリエンテーション(英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について) 第2回 エッセイ1Q&A、TOEIC対策テキストDrill 1, 2 第3回 エッセイ2Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 3, 4 第4回 エッセイ3Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 5, 6, 7, 8 第5回 エッセイ4Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 9, 10 第6回 エッセイ5Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 11, 12 第7回 エッセイ6Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 13, 14 ディクテーションテスト 第8回 エッセイ7Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 15, 16 第9回 エッセイ8Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 17, 18, 19, 20 第10回 エッセイ9Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 21, 22 ディクテーションテスト 第11回 エッセイ10Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 23, 24 第12回 エッセイ11Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 25, 26 第13回 G-TELPテスト 第14回 エッセイ12Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 27, 28 第15回 エッセイ13Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 29, 30</p>		
キーワード			
教科書・教材・参考書	English-Plus (採用ナンバーは後日決定する) 『新TOEIC Test文法・リーディング対策 初級問題集』松柏社		
成績評価の方法・基準等	定期試験48%、小テスト16%、積極的な授業への参加度16%。G-TELP試験スコア20%		

受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011026	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(M3)		
編集担当教員	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者)	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	濱崎 大		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教]23講義室		
対象学生(クラス等)	M12		
担当教員Eメールアドレス	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	0.0		
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室在中可		
授業のねらい	リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意訳の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。		
授業方法(学習指導法)	受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業到達目標	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。同時に、英語力だけではなく教科書の内容から得る事ができる情報も、知識人として必要なものになります。		
授業内容	Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。テーマは幕末の長崎について多く取り上げられているTextですが、Phrase Reading、Skimming-Scanning、Listening、意訳の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで習得して行きます。		
	回	内容	
	1	第1回 Introduction	
	2	第2回 Unit 1 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1)	
	3	第3回 Unit 2 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2)	
	4	第4回 Unit 3 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1)	
	5	第5回 Unit 4 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2)	
	6	第6回 Unit 5 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1)	
	7	第7回 Unit 6 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2)	
	8	第8回 Unit 7 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3)	
	9	第9回 Unit 8 Fat The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4)	
	10	第10回 Unit 9 The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy.	
	11	第11回 Unit 10 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (1)	
	12	第12回 Unit 11 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (2)	
	13	第13回 G-TELP	
	14	第14回 Unit 12 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (3)	
		第15回 Unit 13 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan: Steam Factory Nagasaki	

	15	1856
	16	第16回 Final Examination
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
教科書・教材・参考書	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)	
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% Examination 70% (G-TELP: 20%, Final Examination: 50%)	
受講要件(履修条件)	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。 欠席回数が1/3以上で学期末試験の受講資格を失います。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	G-TELPテストは、原則15回目の授業で実施。詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金3								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20120590011029	科目番号	05900110								
授業科目名	●総合英語Ⅱ(T9)										
編集担当教員	宇佐美 康子										
授業担当教員名(科目責任者)	宇佐美 康子										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	宇佐美 康子										
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習										
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[総]108										
対象学生(クラス等)	T9										
担当教員Eメールアドレス	usamikan@fsinet.or.jp										
担当教員研究室	非常勤講師室										
担当教員TEL											
担当教員オフィスマワー											
授業のねらい	このクラスは、NATIONAL GEOGRAPHIC が CENGAGE Learning と組んで出しているWORLD ENGLISH 2A をテキストに用いて、多角的な学習により、リスニングスキルとリーディングスキルの強化を目指します。基本的な語彙や文法の確認、会話、英作文、音読等を総合的に学習することで、リスニング力を伸ばすと同時に、ある程度の速さで正確に読む力の強化を図ります。写真が綺麗なテキストで、付属のCD-ROMによって音声の確認はもとより内容理解のチェックもできるので、楽しく効果的に学習できると思います。										
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。テキストは、6つのユニットから構成され、各ユニットはA(Vocabulary, Conversation), B(Listening, Communication, Pronunciation), C(Language Expansion, Grammar, Conversation), D(Reading, Writing), E(Video) の5つに分かれています。1つのユニットを、A, B, C とD, Eとに分け、2回をかけて学習します。付属のCD-ROMを聞き真似て声に出して練習をすることも含めて、きちんと予習してきてください。Dの学習では、その場で読んでもらい大意を取る練習をするとともに、細かな部分は家庭で精読してきてもらいます。また適宜、巻末のWorkbookを利用して学習理解の確認をしたり、配付プリントを用いて、リスニング、音読、リーディングの能力の強化を図ったりします。										
授業到達目標	語彙レベルでも文法レベルでも、テキストの英語を辞書なしで意味がとれることを目指します。音声面では、発音で英語の音に少しでも近づき、付属のCD-ROMによる英語のリズムと速さで音読できることを目指します。これらのことを通じて、初めて読む英文も、ある程度の速さで黙読して大意が取れることを目指します。。										
授業内容	<p>授業の最初に、前回学習した範囲の英単語等の小テストを行います。成績の約20%はこの小テストで評価されます。A, B, Cを学習する際は、テキストの間に答えたり、CD-ROMにある音声を用いて、会話の練習をしたりリスニングをしたりします。最後に次週に勉強するDの英文を用いて、ある時間内で読んで大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。D, Eを学習する際は、まずDについて家庭でしてきた精読の確認を行い、文法確認や英作文などを行います。Eについても、家庭でしてきた勉強の確認を行います。適宜、巻末のWorkbookを利用して理解の確認をしたり、プリント教材を用いて、リスニング、音読、リーディングの練習をしたりします。</p> <p>学生は指示された範囲や内容を、テキストについてのCD-ROMを使い必ず家庭で予習して授業に参加してください。この授業では、音読の練習も行います。各英単語の音を確認するだけでなく、英語のリズムとスピードで音読できることは、ある程度のまとまった量のある程度の速さで読むためには大切です。手を抜かず努力して下さい。英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、英語の力は向上します。がんばってください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>イントロダクション、Unit 1 Food from the Earth A,</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Unit 1 Food from the Earth B, C</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Unit 1 Food from the Earth D, E</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	イントロダクション、Unit 1 Food from the Earth A,	2	Unit 1 Food from the Earth B, C	3	Unit 1 Food from the Earth D, E
回	内容										
1	イントロダクション、Unit 1 Food from the Earth A,										
2	Unit 1 Food from the Earth B, C										
3	Unit 1 Food from the Earth D, E										

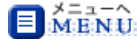
	4	Unit 2 Communication A, B, C
	5	Unit 2 Communication D, E
	6	Unit 3 Cities A, B, C
	7	Unit 3 Cities D, E
	8	Unit 4 The Body A, B, C
	9	Unit 4 The Body D, E
	10	Unit 5 Challenges A, B, C
	11	Unit 5 Challenges D, E
	12	Unit 6 Transitions A, B, C
	13	G-TELP テスト
	14	Unit 6 Transitions D, E
	15	復習と応用
	16	(2013年2月8日) 定期試験
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
教科書・教材・参考書	テキスト: WORLD ENGLISH 2A (CENGAGE Learning) (CD-ROM付) 2,321円。 プリント: 適宜配付。	
成績評価の方法・基準等	定期試験約60%、G-TELP20%、毎回の小テストを含む平常点約20%で行います。	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則です。教科書も必ず購入してください。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	第1回目からすぐに授業に入ります。テキストを購入して、CD-ROMを作動させ、Unit 1の範囲を試してみてください。	





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

参照URL

学期	後期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011035	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(M2)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	M1		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として医学英語にふれる。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。医学的な話題を扱った英字新聞記事を速読する。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、基礎的な医学英語に関わる語彙、表現を身につける。		
授業内容	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
	回	内容	
	1	10月5日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明	
	2	10月12日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)、医者と患者の会話(1)	
	3	10月19日 第3回 Voice Aerobics、医者と患者の会話(2)	
	4	10月26日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、医者と患者の会話(3)	
	5	11月2日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、医者と患者の会話(4)	
	6	11月9日 第6回 弱く発音される音、医者と患者の会話(5)	
	7	11月16日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)、	
	8	11月30日 第8回 聞こえなくなる音、医者と患者の会話(5)、速読(2)	
	12月7日		

	9	第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 医者と患者の会話(6)
	10	12月14日 第10回 グループによるディスカッション(1), 速読(3)
	11	12月21日 第11回 なくなる音, 医者と患者の会話(7), 速読(4)
	12	1月4日 第12回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3)
	13	1月11日 G-TELPテスト
	14	1月25日 第13回 つながる音, 医者と患者の会話(8), 速読(5)
	15	2月1日 第14回 医者と患者の会話(9), 速読(6) まとめ Retellingとsummarizing, semantic mapを用いた学習
	16	
キーワード	医学英語、音変化、速読	
教科書・教材・参考書	Medical English Clinic (センテージ)、及びプリント教材。	
成績評価の方法・基準等	評価はあ、G-TELP(20%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは医学英語表現を対象として毎回行う。また、小テストに加えて、医学英語を題材にshadowingの効果を見るテストを2回実施する。	
受講要件(履修条件)	毎回、復習を行うこと。	
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、学部教育への橋渡しとしての医学英語にふれる。	
学習・教育目標	基礎的医学英語に関わる表現等を身につける。また、大学レベルの英語に必要なスキルを身につける。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	毎回実施される医学英語の小テストに備えた準備をすること。授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。	





シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。 [印刷](#)

シラバス参照

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。

学期	後期	曜日・校時	金4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011008	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(T1)		
編集担当教員	廣江 顕		
授業担当教員名(科目責任者)	廣江 顕		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	廣江 顕		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[教]21講義室		
対象学生(クラス等)	工学(T1)		
担当教員Eメールアドレス	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	Emailにより受け付ける		
授業のねらい	テキストを用いながらリーディング力を培う。具体的には、トピックセンテンスを中心としたパラグラフ・リーディングと語彙や文構造に着目する精読の二通りのリーディング力を育成する。また、基礎的なリスニング力を養成する。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、自然なスピードで短い会話を聞き、質問に回答するリスニングテストを行う。後半では、テキストを要約あるいは精読するが、前もって学生を指名しておき発表してもらい、その後、質問等によりリーディングの指導を行う。		
授業到達目標	リーディングでは、目的や場面に応じて、速読と精読を使い分けることができるようになる。リスニングでは、基礎的なリスニング力と基本的な表現を身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	Introduction (Sample test)	
	2	Chapter 1 Archimedes--the First Streaker	
	3	Chapter 2 A Sick Indian Discovers Quinine	
	4	Chapter 4 Vaccination--Edward Jenner, a Milkmaid, and Smallpox	
	5	Chapter 5 Nitrous Oxide and Ether as Anesthetics	
	6	Chapter 7 How to Succeed in Archaeology Without Really Trying "Things That Just Turned UP"	
	7	Chapter 8 Some Astronomical Serendipities "The Big Bang" "Pulsars" "Pluto's Moon"	
	8	Chapter 7 'Til Death Us Do Apart? Marriage and Divorce in the 21st Century	
	9	Chapter 9 Accidental Medical Discoveries "Insulin" "The Pill" "LSD"	
	10	Chapter 10 Velcro and Other Gifts of Serendipity to Modern Living "Velcro: From Cockleburs to Spaceships"	
	11	Chapter 10 Velcro and Other Gifts of Serendipity to Modern Living "Ivory Soap"	
	12	Chapter 10 Velcro and Other Gifts of Serendipity to Modern Living "Corn and Wheat Flakes"	
	13	G-TELP	
	14	Chapter 10 Velcro and Other Gifts of Serendipity to Modern Living "Post-its" "Scotchgard"	
	15	まとめ	
16	定期試験		

キーワード	reading, academic writing, science
教科書・教材・参考書	Royston M. Roberts, Serendipity: Accidental Discoveries in Science, 松柏社, 1575円(税込)
成績評価の方法・基準等	リスニングテストの平均点(20%)、G-TELP(20%)、授業時の発表(10%)、定期試験(50%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	基礎的なリーディング力及びリスニング力を養う。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	必ず予習をして授業に臨むこと。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	金4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011009	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(T3)		
編集担当教員	奥田 阿子		
授業担当教員名(科目責任者)	奥田 阿子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	奥田 阿子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]新棟6		
対象学生(クラス等)	T3		
担当教員Eメールアドレス	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	質問受付時間:金曜日2限目 教員Eメールアドレス宛に質問も可		
授業のねらい	英語圏への留学、TOEICの受験などを想定し、大学生としてふさわしい実践的な英語の運用能力を養成します。		
授業方法(学習指導法)	この授業では、リスニング及び語彙の基礎力を養成することを目指します。教材の内容理解度及び学習ペース設定のため、毎週、小テストを実施します。授業中は、小テストの他にグループワークを取り入れ、グループでの発表に備えた作業を行ってもらいながら運用能力の養成を図ります。		
授業到達目標	各単語を逐一聞き取ろうとするのではなく、5語前後から成るフレーズに注目し、そのフレーズ全体の内容を理解するような姿勢でリスニング出来るようになること。また、情報収集を行ったものに対し、英語を用いて相手に伝えられるようになること。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	教材の説明、学習方法の説明	
	3	小テスト、グループワーク	
	4	小テスト、グループワーク	
	5	小テスト、グループワーク	
	6	小テスト、グループワーク	
	7	小テスト、グループワーク	
	8	小テスト、発表	
	9	小テスト、グループワーク	
	10	小テスト、グループワーク	
	11	小テスト、グループワーク	
	12	小テスト、グループワーク	
	13	G-TELP実施	
14	小テスト、グループワーク		

	15 小テスト、発表
	16 期末試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	Messages Our Future
成績評価の方法・基準等	"期末テスト、小テスト、学習態度を、おおよそ以下の比率で総合的に評価する。 期末テスト:20% 小テスト:20% 自習状況を含む学習態度:40% G-TELP:20%"
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011027	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(T2)		
編集担当教員	山田 健太郎		
授業担当教員名(科目責任者)	山田 健太郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山田 健太郎		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[環]341		
対象学生(クラス等)	T2		
担当教員Eメールアドレス	k-yamada@sun.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスパワー	授業前後		
授業のねらい	リーディングとリスニングに重点をおきながら、英語の4技能(リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング)を総合的に向上させることをめざす。		
授業方法(学習指導法)	英文学習雑誌English-Plusの中から、比較的短くて読みやすいエッセイを選び、1回の授業で1エッセイを読む。これとは別にTOEICの練習問題を毎回して、目標を意識した学習を心がける。ディクテーション・テストも組み入れてリスニング力も強化する。		
授業到達目標	TOEIC500点以上の英語力		
授業内容	<p>授業内容(概要)</p> <p>英語力鍛錬のため、毎回英英辞典を使ったクイズ、課題エッセイについての英問英答、TOEIC対策テキストを数ページする。数回おきにテキスト指定箇所のディクテーションテストを行なう。適宜実力テストを実施する。</p> <p>第1回 オリエンテーション(英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について)</p> <p>第2回 エッセイ1Q&A、TOEIC対策テキストDrill 1, 2</p> <p>第3回 エッセイ2Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 3, 4</p> <p>第4回 エッセイ3Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 5, 6, 7, 8</p> <p>第5回 エッセイ4Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 9, 10</p> <p>第6回 エッセイ5Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 11, 12</p> <p>第7回 エッセイ6Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 13, 14 ディクテーションテスト</p> <p>第8回 エッセイ7Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 15, 16</p> <p>第9回 エッセイ8Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 17, 18, 19, 20</p> <p>第10回 エッセイ9Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 21, 22 ディクテーションテスト</p> <p>第11回 エッセイ10Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 23, 24</p> <p>第12回 エッセイ11Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 25, 26</p> <p>第13回 G-TELPテスト</p> <p>第14回 エッセイ12Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 27, 28</p> <p>第15回 エッセイ13Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 29, 30</p>		
キーワード			
教科書・教材・参考書	English-Plus (採用ナンバーは後日決定する) 『新TOEIC Test文法・リーディング対策 初級問題集』松柏社		
成績評価の方法・基準等	定期試験48%、小テスト16%、積極的な授業への参加度16%。G-TELP試験スコア20%		

受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2012年度シラバス」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	金4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20120590011031	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(K2)		
編集担当教員	松田 雅子		
授業担当教員名(科目責任者)	松田 雅子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松田 雅子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	環境科学部1年生		
担当教員Eメールアドレス	mmatsuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部404		
担当教員TEL	819-2740		
担当教員オフィスアワー	月曜日16:00-17:00		
授業のねらい	(1)英語のスピーキング力、リスニング力、読解力をつける (2)英語でコメントし、自分の意見を言えるようになる		
授業方法(学習指導法)	リスニング、リピーティング、スピーキング、ペアワーク、レコーディング、ビデオ視聴		
授業到達目標	英語でのスピーキング力をつける		
授業内容	<p>① 日本語は音節が約100、英語は約3000である。英語を話すことができるようになるためには実際に口を動かして、英語の発音の型を学ぶ必要がある。基本的な英語の文型を吹き込んだCDを何度も聞き、声を出して練習する。ICレコーダーに録音し、学習の記録をとる</p> <p>② 英語の映画を見たり、副読本を読み、英語で内容をまとめ、意見を発表する</p> <p>③ いろいろなトピックについて、ペア、あるいはグループで英語で話す</p> <p>④ 英語のスピーキングテスト(30分)の準備をする。絵を見てその内容を説明したり、4コマ漫画からストーリーを作ったり、2つのものの長所短所を比較したり、道順を教えるなどである</p> <p>⑤ G-TELP(学生用資格試験)を受験する</p> <p>第1回 1課—4課 第2回 5課—8課 第3回 9課—12課 第4回 13課—16課 第5回 17課—20課 第6回 21課—24課 第7回 25課—28課 第8回 29課—32課 第9回 33課—36課 第10回 スピーキングテスト 第11回 37課—40課 第12回 41課—44課 第13回 G-TELP筆記試験 第14回 45課—48課 第15回 49課—50課 第16回 定期試験</p>		
キーワード	英語のスピーキング力、レコーディング		
	英会話なるほど練習帳(アルク、2001)		

教科書・教材・参考書	副教材: Just Like a Movie(ケンブリッジ) DVD: 学校から貸し出す
成績評価の方法・基準等	○定期試験 50%、G-TELP筆記試験 20%、スピーキングテスト 10%、宿題 20%
受講要件(履修条件)	積極的に学習に取り組む人。レコーディングを毎日やる人
本科目の位置づけ	スピーキング力の養成は英語学習の基礎である
学習・教育目標	スピーキング力とコミュニケーション力をつけ、国際性を養う
備考(URL)	
備考(準備学習等)	レコーディング、DVD視聴、副教材を読むなどの家庭学習をしっかりとやる



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2012年度シラバス**」、開講所属「**教養教育(全学教育)-教養教育_総合英語Ⅱ**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る



参照URL

学期	後期	曜日・校時	金4																		
開講期間																					
必修選択	必	単位数	1.0																		
時間割コード	20120590011032	科目番号	05900110																		
授業科目名	●総合英語Ⅱ(M6)																				
編集担当教員	池田 俊也																				
授業担当教員名(科目責任者)	池田 俊也																				
授業担当教員名(オムニバス科目等)	池田 俊也																				
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																				
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																		
教室	[教]22講義室																				
対象学生(クラス等)	M15																				
担当教員Eメールアドレス	t-iked@nagasaki-u.ac.jp																				
担当教員研究室	教育学部本館6階(621号室)																				
担当教員TEL	819-2092																				
担当教員オフィスアワー	在室時随時																				
授業のねらい	①総合英語Ⅰで習得した総合的な英語の力をさらに伸ばすこと。とりわけ、reading, writing, listening, speaking の4技能のうち、reading と listening に重点を置く。 ②reading 指導では、内容に応じて、'oral reading'及び'bottom up' と 'topdown' の読解法理論の実践を行う。 ③listening指導では、毎回行う小テストで聴解力の向上を目指し、同時にコールシステム活用を喚起する。																				
授業方法(学習指導法)	①内容に応じて、'paragraph reading' による速読の訓練を行う。内容としては科学的なエッセイを読むが、Unit 毎の内容理解の確認を練習問題を通して行う。読解の要点は学生各自の発表の形でやってもらう。 ②あわせて、listening では毎時間小テストを行い、聴解力向上を図る。																				
授業到達目標	①要点を的確につかみ取る英語読解力と英語聴解力を身につけること。 ②コールシステムなどの機材を活用して、自学への積極性を持つようになること。																				
授業内容	<p>16回目 2月10日 定期試験</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>授業の概要説明。クラスで学ぶことなど。以下の大まかな順番で授業を進める。①は読解テキストの内容、②は聴解テキスト 10月5日：①Overweight and over-dieting ①Drill 1, 21</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10月12日：②Making dirty air illegal ②Drill 2, 22</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10月19日：③Fish sick from dioxin ③Drill 3, 23</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10月26日：④Chocolate helps the heart ④Drill 4, 24</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11月2日：⑤Making hydrogen fuel from pond algae ⑤Drill 5, 25</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11月9日：⑥Developing a new drug for Alzheimer's disease ⑥Drill 6, 26</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11月16日：⑦Excessive alcohol shrinks the brain ⑦Drill 7, 27</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11月30日：⑧Tampering with the genes of fish</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	授業の概要説明。クラスで学ぶことなど。以下の大まかな順番で授業を進める。①は読解テキストの内容、②は聴解テキスト 10月5日：①Overweight and over-dieting ①Drill 1, 21	2	10月12日：②Making dirty air illegal ②Drill 2, 22	3	10月19日：③Fish sick from dioxin ③Drill 3, 23	4	10月26日：④Chocolate helps the heart ④Drill 4, 24	5	11月2日：⑤Making hydrogen fuel from pond algae ⑤Drill 5, 25	6	11月9日：⑥Developing a new drug for Alzheimer's disease ⑥Drill 6, 26	7	11月16日：⑦Excessive alcohol shrinks the brain ⑦Drill 7, 27	8	11月30日：⑧Tampering with the genes of fish
回	内容																				
1	授業の概要説明。クラスで学ぶことなど。以下の大まかな順番で授業を進める。①は読解テキストの内容、②は聴解テキスト 10月5日：①Overweight and over-dieting ①Drill 1, 21																				
2	10月12日：②Making dirty air illegal ②Drill 2, 22																				
3	10月19日：③Fish sick from dioxin ③Drill 3, 23																				
4	10月26日：④Chocolate helps the heart ④Drill 4, 24																				
5	11月2日：⑤Making hydrogen fuel from pond algae ⑤Drill 5, 25																				
6	11月9日：⑥Developing a new drug for Alzheimer's disease ⑥Drill 6, 26																				
7	11月16日：⑦Excessive alcohol shrinks the brain ⑦Drill 7, 27																				
8	11月30日：⑧Tampering with the genes of fish																				

	⑧Drill 8, 28
9	12月7日: ⑨Urban warming ⑨Drill 9,29
10	12月14日: ⑩The effects of high blood pressure ⑩Drill 10,30
11	12月21日: ⑪Frequent fliers and radiation ⑪drill 11
12	1月4日: G-Telp テスト
13	1月11日: 12、War on waste ⑫Drill 31
14	1月25日: ⑬Nuclear fears confirmed by Tokai poll ⑬Drill 12
15	2月1日: ⑭Dam plan ⑭Drill 32
16	2月8日: 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	①田吹 昌俊 他,Critical Insight on Contemporary Issues, 成美堂 ②D.E.Brameley, Score Goals in TOEIC Test,Listening 500, 松柏社
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【期末筆記試験及び小テストの結果(80%)と授業中の発表・授業への取り組み方など総合的に評価する。】 平成22年度後期の総合英語IIの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学カテストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の13回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。

